

平成30年度 第1回

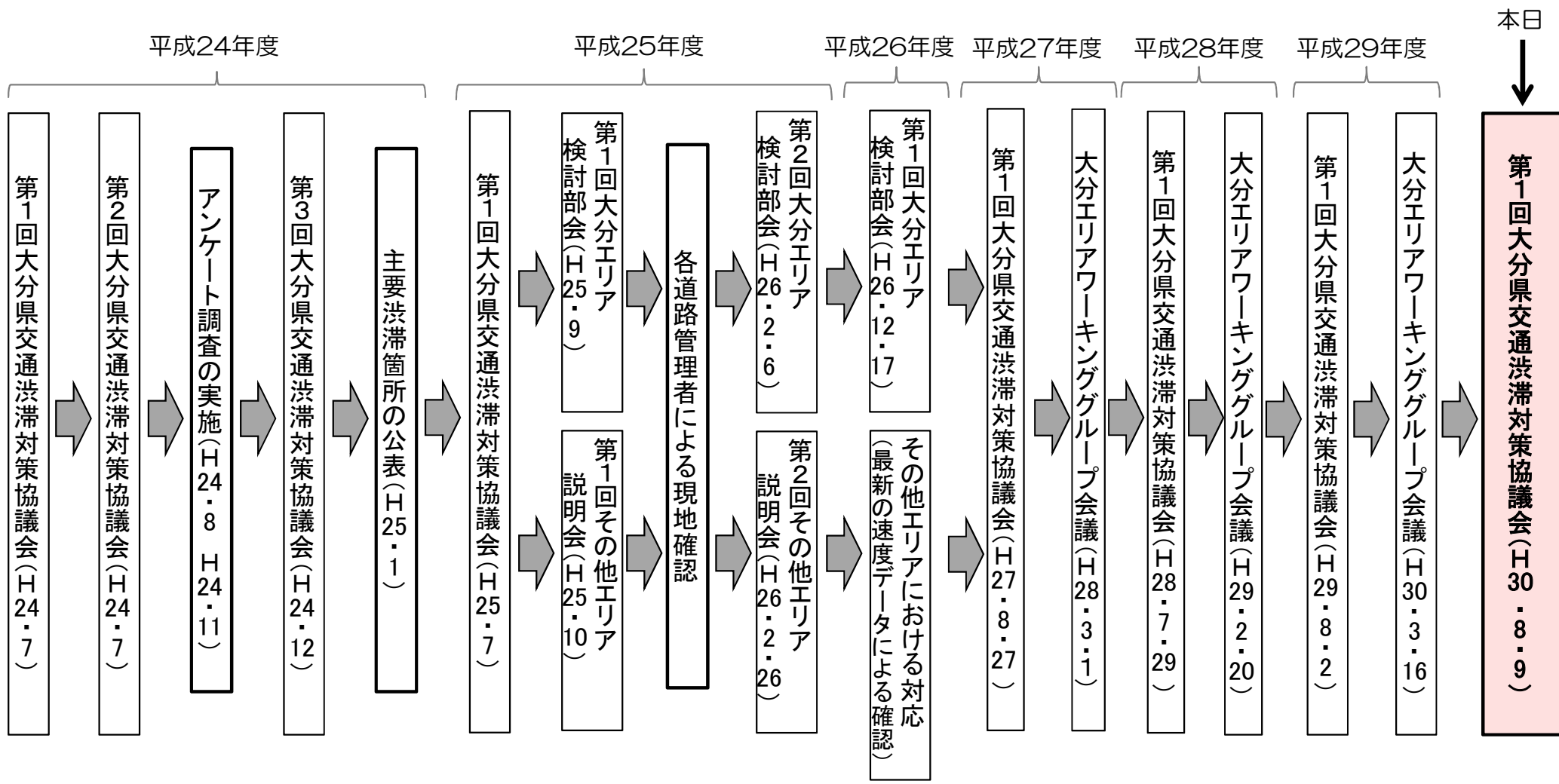
大分県交通渋滞対策協議会資料

目次

1. これまでの検討経緯	1
2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング	2
3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針	1 1
4. ピンポイント渋滞対策の取り組み	1 8
5. 官民連携による渋滞対策の取り組み	2 1
6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み	2 3
7. 今後の進め方	3 1

平成30年8月9日

1. これまでの検討経緯



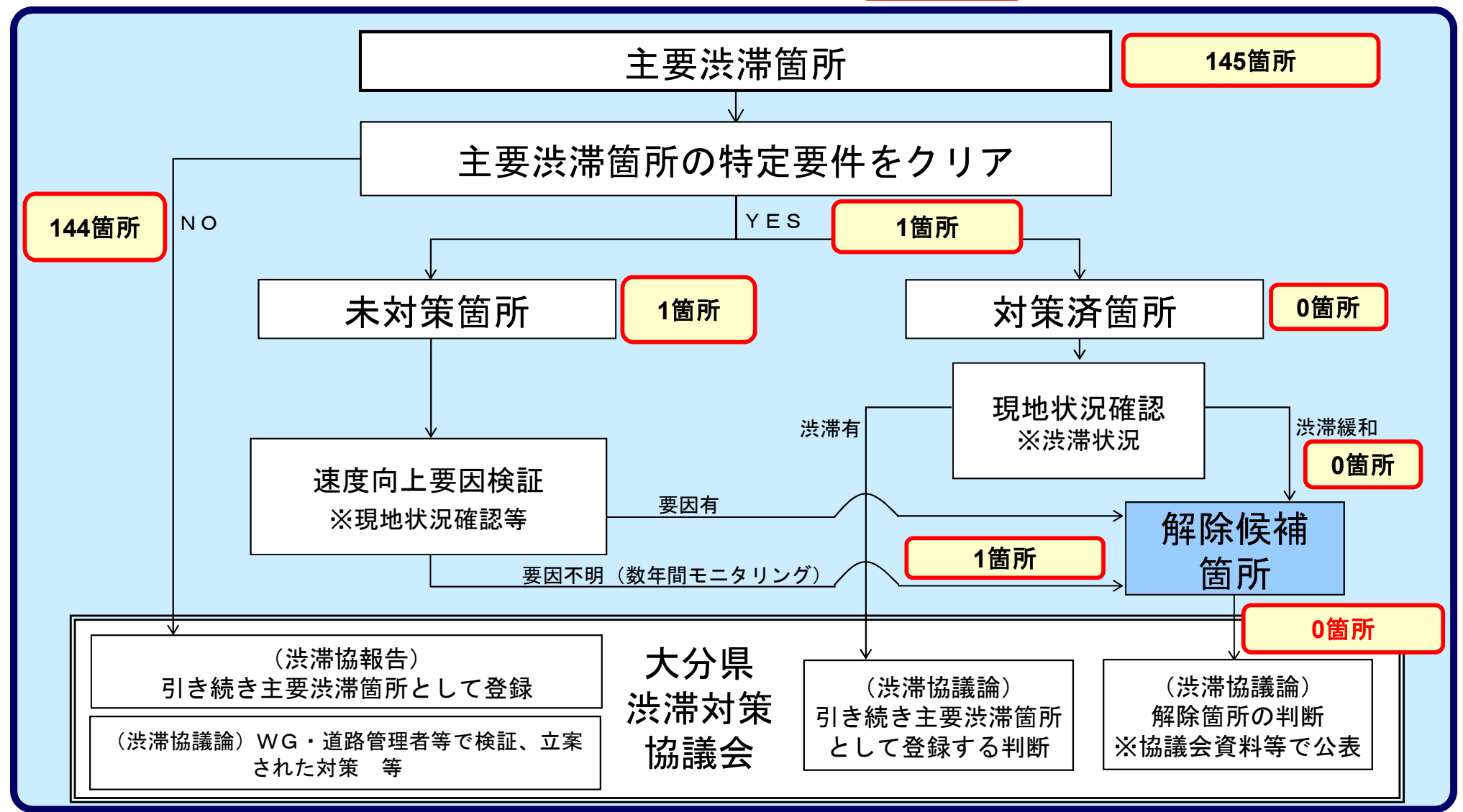
2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(1) 最新交通データによる主要渋滞箇所点検結果

・主要渋滞箇所の指定解除については、以下に示すフローに従い最新のデータや現地状況等を確認し、各箇所毎に渋滞対策協議会で判断して解除を行う。

■主要渋滞箇所(一般道)の取扱(解除要件)フロー

145箇所 : 大分県内の主要渋滞箇所数



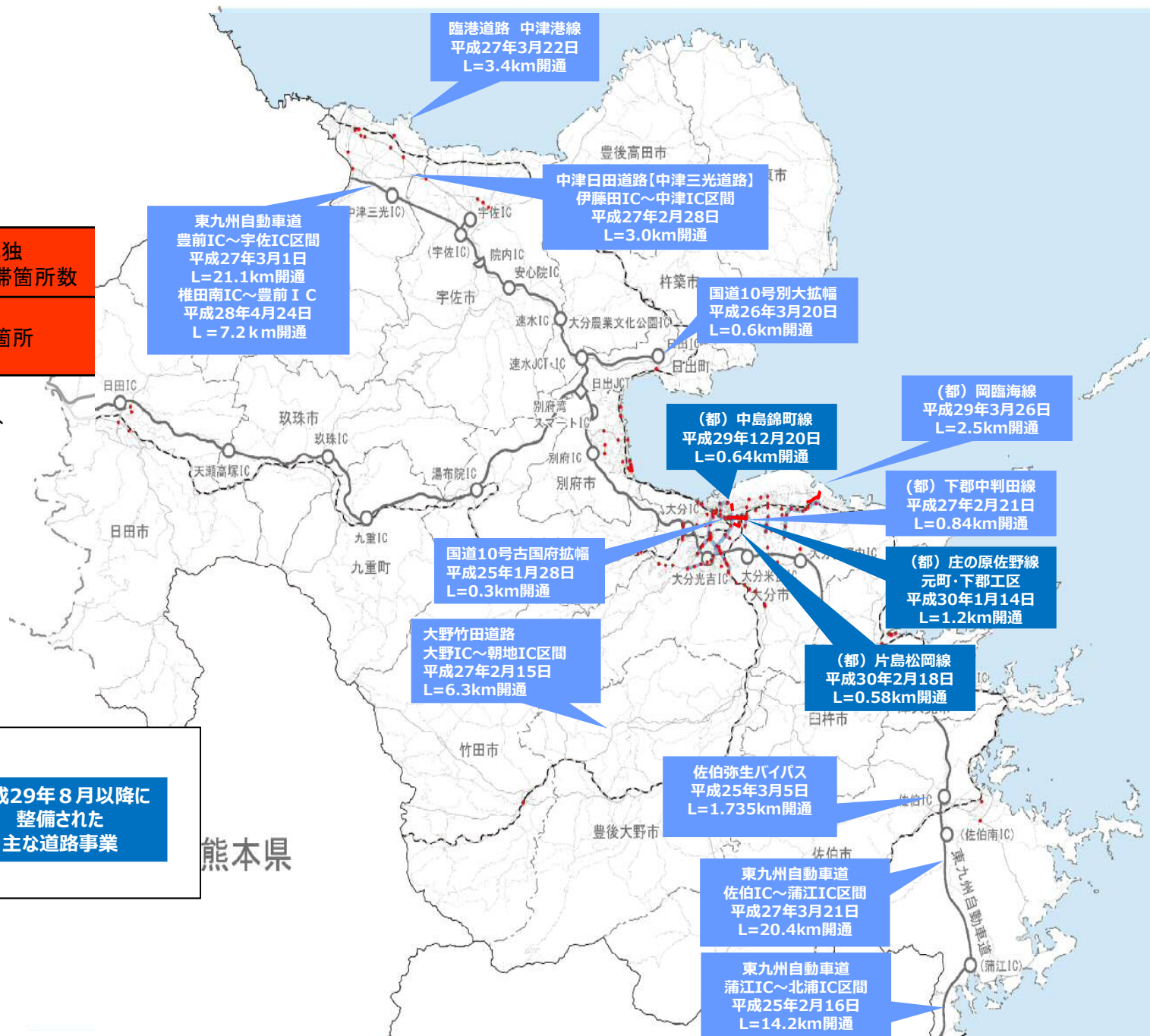
2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(2) 最新交通データによる主要渋滞箇所と主な道路事業状況

▼大分県内の主要渋滞箇所(一般道)

主要渋滞箇所数	区間内の主要渋滞箇所数	単独主要渋滞箇所数
145箇所	82箇所 (29区間)	63箇所

区間: 交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間
 箇所: 単独で主要渋滞箇所を形成



2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(3)最新交通データによる主要渋滞箇所点検結果

- ・H25年1月以降に対策を実施した主要渋滞箇所モニタリング結果一覧を以下に示す。
- ・各交差点において、渋滞緩和は見られるものの、**選定基準に該当**しているため、「**経過観察**」とする。

●対策が行われた主要渋滞箇所の点検結果

【主要渋滞箇所の選定基準】

平日朝（7時～9時）または平日夕（17～19時）または休日昼（7時～19時）の平均速度が一方向でも20km/h未満になる箇所

交差点名	対策事業名	対策内容	完了年次	今後の対策	方角	路線名	選定時平均速度(km/h) 【H24.4～H24.8】			対策後平均速度(km/h) 【H29.4～H30.3】			今後の方針
							平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
顕徳町3丁目	国道10号古国府拡幅	交差点の新設 国道10号4車線化	H25.1	なし	北	市道等(従)	13.2	15.0	20.3	11.8	13.8	13.9	経過観察
					西	国10(主)	22.9	14.6	19.0	17.0	16.5	20.0	
					東	国10(主)	25.0	32.0	25.8	28.1	23.5	40.4	
					南東	市道等(従)	9.4	5.4	6.0	7.3	7.1	8.9	
堀	国道10号別大拡幅	国道10号4車線化	H26.3	なし	北	市道等(従)	13.2	9.5	14.2	20.5	14.7	15.4	経過観察
					北東	国10(主)	15.3	14.5	18.1	33.0	25.5	24.6	
					東	国213(従)	23.7	12.9	16.2	20.0	12.8	13.9	
					南西	国10(主)	15.2	19.3	20.5	22.2	20.8	21.9	
					南	市道等(従)	21.1	15.6	16.6	12.2	19.4	19.4	
牧跨線橋南	(都)下郡中判田線	道路新設	H27.2	なし	南	市道等(従)	14.5	7.8	14.9	12.9	6.2	12.5	経過観察
					南西	市道等(主)	23.7	33.6	31.6	18.7	29.9	26.1	
					北	市道等(従)	10.2	8.6	13.3	9.6	8.4	9.7	
					北東	市道等(主)	15.4	17.9	28.7	14.9	17.1	19.5	
佐野	東九州自動車道(豊前IC～宇佐IC区間) 東九州自動車道(椎田南IC～豊前IC区間)	高速道路新設	H27.3 H28.4	なし	北西	国213(従)	19.3	24.4	21.5	19.9	18.8	19.4	経過観察
					北東	県629(従)	25.5	29.2	29.8	30.5	32.7	29.7	
					西	国10(主)	19.2	29.4	18.8	20.4	21.2	25.3	
					南東	国10(主)	32.3	36.6	39.3	32.3	37.6	38.1	
大分大学入口	交差点改良	区画線の引き直し	H29.2	信号 現示変更	北	国10(主)	18.4	25.9	27.5	24.8	32.8	36.7	経過観察
					南東	市道等(従)	13.8	14.3	17.4	15.6	16.0	19.7	
					南	国10(主)	22.7	24.1	26.9	38.7	32.9	33.5	
角子原陸橋南	岡臨海線	道路新設	H29.3	なし	東	国197(主)	36.2	31.3	31.9	27.9	20.6	23.6	経過観察
					西	国197(主)	32.1	29.1	31.1	23.7	21.7	22.2	
					北	主22(従)	11.6	16.2	20.6	17.7	16.8	19.9	

※交差点名の赤文字は、今回新たに追加した箇所 ※赤数字は、対策後平均速度<20km/h

□ : 事業方向 データ: フォローアップデータ

2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(3) 最新交通データによる主要渋滞箇所点検結果

- ・対策が実施されていないが、最新交通データによるモニタリングにおいて選定基準非該当となった箇所のモニタリング結果を以下に示す。
- ・モニタリングの結果、**1箇所を「経過観察」とする。**

● 対策が行われていないが選定基準非該当となった箇所の点検結果

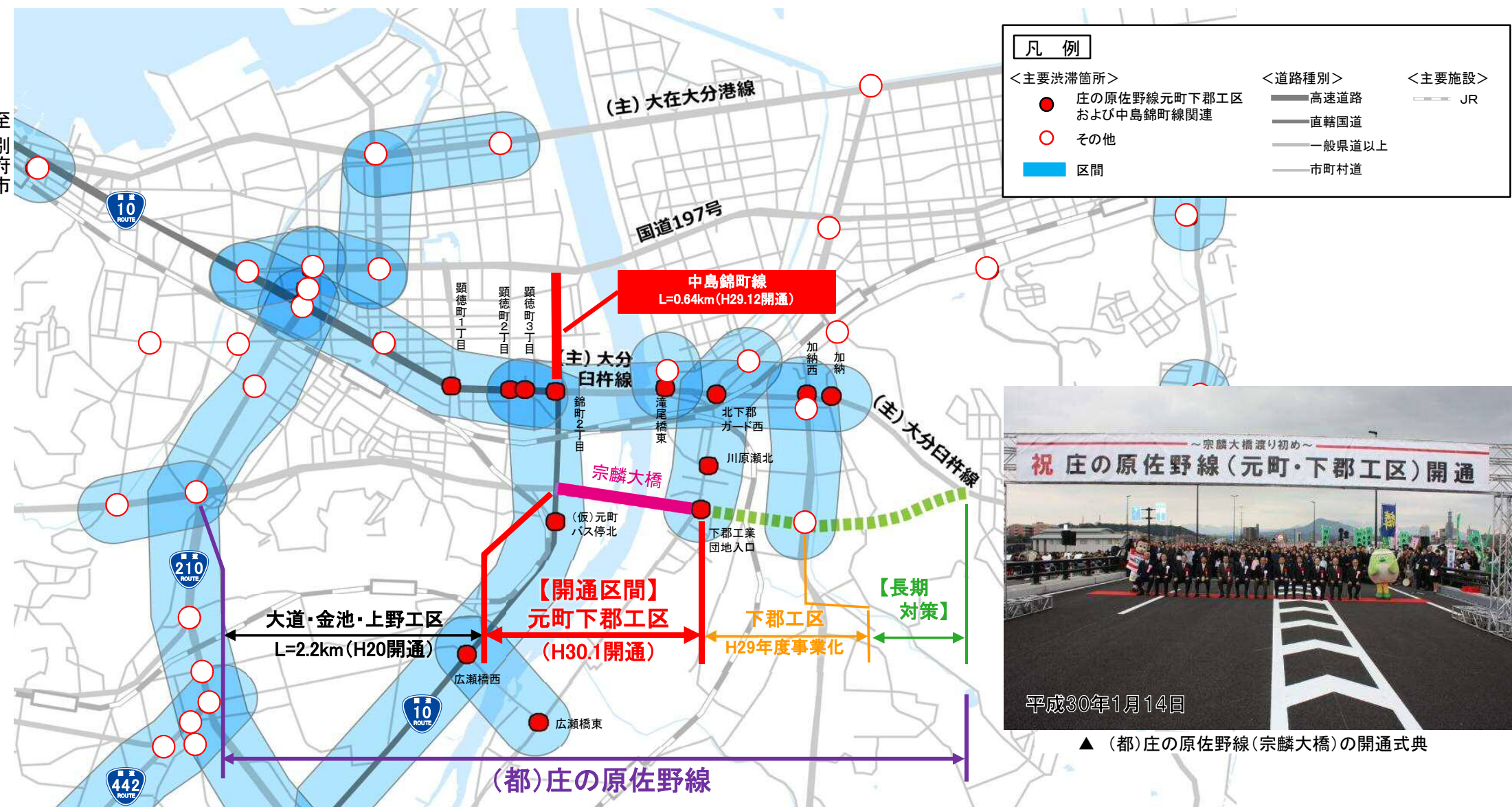
交差点名	方角	路線名	選定時平均速度(km/h) 【H24.4~H24.8】			最新の平均速度(km/h) 【H29.4~H30.3】			今後の方針	理由
			平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼		
中村北	北	国10(主)	35.8	31.6	30.2	27.6	29.5	30.2	経過観察	現地確認を行ったが、速度向上の要因が把握できなかったため、今後もモニタリングを継続する。
	東	主38(従)	17.6	23.2	21.3	34.5↗	27.8↗	26.4↗		
	南	国10(主)	36.5	34.9	32.5	28.2	25.9	26.8		

データ：フォローアップデータ

2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(4) 庄の原佐野線元町下郡工区および中島錦町線の整備に伴う点検結果

【道路事業】庄の原佐野線元町下郡工区(H30.1)、中島錦町線(H29.12)



2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(4) 庄の原佐野線元町下郡工区および中島錦町線の整備に伴う点検結果

- (都) 庄の原佐野線元町下郡工区 (H30.1開通) および (都) 中島錦町線 (H29.12開通) の整備により一定の効果がみられるものの、整備後間もないため、すべての箇所を経過観察として今後もモニタリングを継続する。

● (都) 庄の原佐野線元町下郡工区および (都) 中島錦町線の整備による主要渋滞箇所の点検結果 (速報値) (1/2)

交差点名	対策事業名	対策内容	完了年次	今後の対策	方角	路線名	選定時平均速度(km/h) 【H24.4~H24.8】			対策後平均速度(km/h) 【H30.2~H30.3】			今後の方針
							平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼	
顕徳町1丁目	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	県庁前 古国府線	北西	国10(主)	9.2	7.5	9.8	11.9	11.8	14.5	経過観察
					東	国10(主)	7.4	8.9	8.8	15.3	13.1	13.2	
					南	市道等(従)	3.2	3.4	4.4	10.5	10.1	12.6	
					北	市道等(従)	9.2	6.0	8.4	10.1	8.4	35.4	
顕徳町2丁目	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区 (都) 中島錦町線	道路新設	H30.1 H29.12	なし	北	市道等(従)	7.0	4.0	6.3	13.6	12.0	18.9	経過観察
					西	国10(主)	15.6	8.3	17.3	18.9	26.5	28.6	
					東	国10(主)	15.5	17.0	21.3	17.0	16.1	28.4	
					南	市道等(従)	3.9	4.5	4.6	18.5	13.9	14.5	
顕徳町3丁目	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	北	市道等(従)	13.2	15.0	20.3	-	18.0	13.0	経過観察
					西	国10(主)	22.9	14.6	19.0	24.6	24.3	22.7	
					東	国10(主)	25.0	32.0	25.8	22.4	17.5	34.1	
					南東	市道等(従)	9.4	5.4	6.0	7.3	6.5	10.3	
錦町2丁目	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区 (都) 中島錦町線	道路新設	H30.1 H29.12	検討中	西	国10(主)	11.5	7.2	10.1	18.2	18.8	13.4	経過観察
					南	国10(主)	-	-	-	6.1	6.7	13.9	
					東	主21(従)	-	-	-	18.6	23.8	23.9	
滝尾橋東	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	西	主21(主)	17.7	13.2	21.9	19.7	16.9	22.6	経過観察
					南	市道等(従)	4.0	4.1	3.3	15.7	15.7	15.2	
					東	主21(主)	22.6	23.8	16.9	37.3	30.8	26.4	
北下郡ガード西	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	南	市道等(従)	4.4	4.2	4.2	18.5	15.6	13.8	経過観察
					東	主21(主)	9.2	11.3	9.5	13.6	12.3	14.2	
					北西	主21(主)	10.0	7.9	13.4	18.4	13.5	19.0	
					北	市道等(従)	3.8	4.8	6.2	15.8	15.1	17.8	

注1)

※赤数字は、対策後平均速度<20km/h

:事業方向

データ:フォローアップデータおよびETC2.0プローブデータ

注1)選定時の道路データには、錦町2丁目交差点の南側の新設区間が設定されていないため、南側と東側の速度が捉えられない。

2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(4) 庄の原佐野線元町下郡工区および中島錦町線の整備に伴う点検結果

- (都) 庄の原佐野線元町下郡工区および (都) 中島錦町線の整備による主要渋滞箇所の点検結果 (速報値) (2/2)

交差点名	対策事業名	対策内容	完了年次	今後の対策	方角	路線名	選定時平均速度(km/h) 【H24.4~H24.8】			対策後平均速度(km/h) 【H30.2~H30.3】			今後の方針	
							平日朝	平日夕	休日昼	平日朝	平日夕	休日昼		
加納西	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	西	主21(主)	16.1	15.1	16.3	18.1	15.3	19.5	経過観察	
						南	主56(従)	4.4	3.5	5.6	8.0	6.4		8.9
						東	主21(主)	6.1	7.3	9.4	10.7	9.5		12.8
						北	市道等(従)	7.0	3.4	5.8	-	-		-
						北	県685(従)	-	-	-	25.3	21.9		26.4
加納	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	南	市道等(従)	2.6	2.0	3.4	12.4	7.9	12.7	経過観察	
						北	市道等(従)	15.8	5.8	15.0	17.6	22.5		19.1
						東	主21(主)	27.5	39.5	43.9	29.1	18.2		32.2
						西	主21(主)	36.8	31.7	33.5	26.7	21.3		24.1
川原瀬北	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	西	市道等(従)	10.6	10.1	18.6	15.0	12.9	17.0	経過観察	
						南	市道等(主)	11.8	22.2	23.6	17.1	18.3		20.0
						北	市道等(主)	29.4	26.5	36.2	27.9	23.9		20.1
						東	市道等(従)	3.1	2.1	4.7	13.0	6.0		9.6
下郡工業団地入口	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	東	市道等(主)	3.2	2.9	4.4	20.4	17.9	16.3	経過観察	
						西	市道等(主)	-	11.6	44.7	-	-		-
						西	主21(主)	-	-	-	17.6	11.7		14.8
						北	市道等(従)	37.1	12.3	18.8	18.5	13.9		18.2
						南西	市道等(従)	16.6	24.3	21.8	18.4	18.1		18.0
(仮)元町バス停北	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	検討中	北	国10(主)	37.4	16.7	34.2	29.6	25.8	29.9	経過観察	
						北西	市道等(従)	-	12.3	26.3	-	9.9		8.5
						南	国10(主)	34.5	36.1	36.3	19.2	24.2		30.3
広瀬橋西	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	検討中	北西	市道等(従)	11.2	11.1	11.7	12.4	16.0	15.1	経過観察	
						北東	国10(主)	10.9	12.7	14.6	10.8	13.8		16.2
						南西	国10(主)	16.5	19.9	27.0	20.8	20.2		26.9
						南東	市道等(従)	5.6	5.6	7.4	22.4	18.0		17.0
広瀬橋東	(都) 庄の原佐野線元町下郡工区	道路新設	H30.1	なし	北西	市道等(従)	20.8	14.8	18.9	26.5	29.2	28.5	経過観察	
						南西	市道等(主)	13.2	8.3	16.0	28.3	21.8		24.3
						北東	市道等(主)	15.5	10.9	14.3	39.1	18.2		21.9

※赤数字は、対策後平均速度<20km/h

□ : 事業方向

データ：フォローアップデータおよびETC2.0プローブデータ

注2) 加納西交差点の北側は、選定時と最新データで対象道路が異なる。(H27.2(都)下郡中判田線開通)

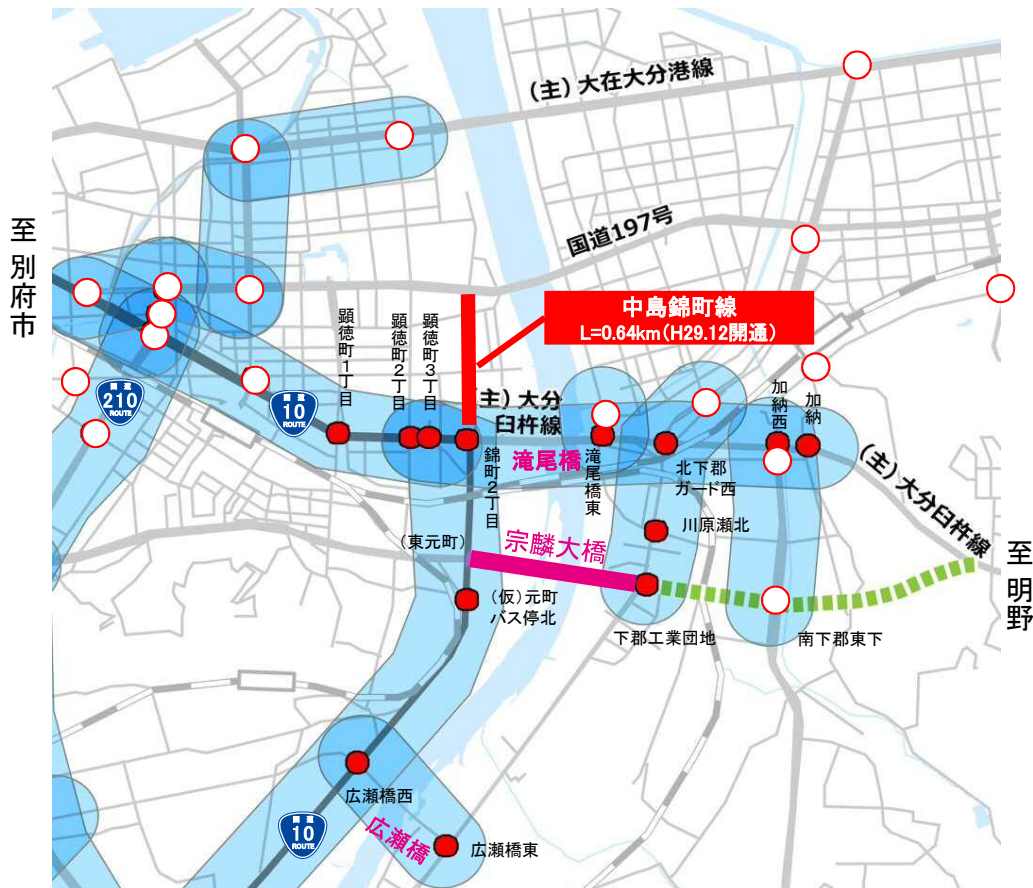
注3) 下郡工業団地入口交差点の西側は、選定時と最新データで対象道路が異なる。(H30.1宗麟大橋の開通)

2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

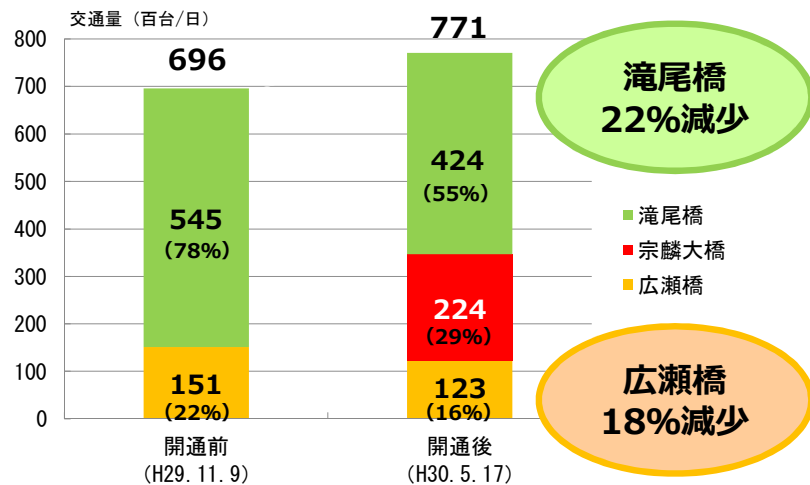
(4) 庄の原佐野線元町下郡工区および中島錦町線の整備に伴う点検結果

・H30.1.14に開通した宗麟大橋の整備により、交通量では並行して隣接する橋梁で約2割減少し、渋滞長では大分臼杵線の特に市街地側で緩和・解消が図られるなど一定の効果が見られている。

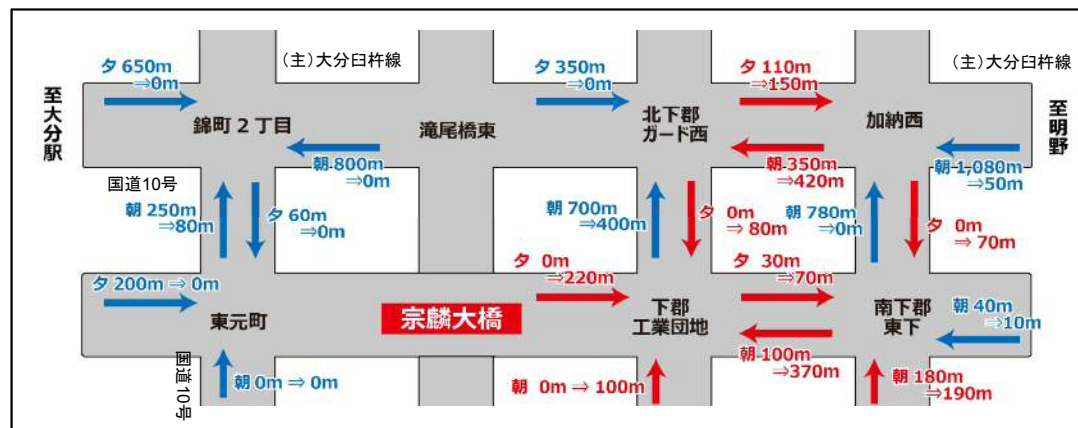
【宗麟大橋開通前後の交通量及び渋滞長の比較】



凡例	<主要渋滞箇所>	<道路種別>	<主要施設>
●	庄の原佐野線元町下郡工区 および中島錦町線関連	— 高速道路	— JR
○	その他	— 直轄国道	
■	区間	— 一般県道以上	
		— 市町村道	



▲ 橋梁別交通量の変化



▲ 渋滞長の変化

朝： 郊外→中心市街地方向
夕： 中心市街地→郊外方向

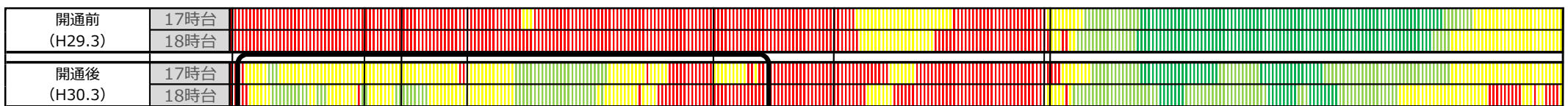
上段： 開通前 H27.9.10 (木)
下段： 開通後 H30.5.17 (木)

2. 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング

(4) 庄の原佐野線元町下郡工区および中島錦町線の整備に伴う点検結果

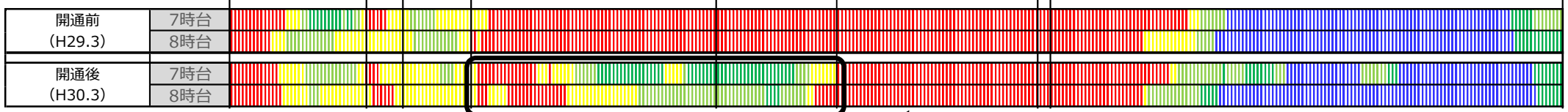
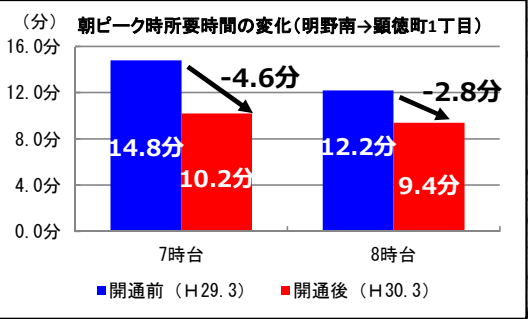
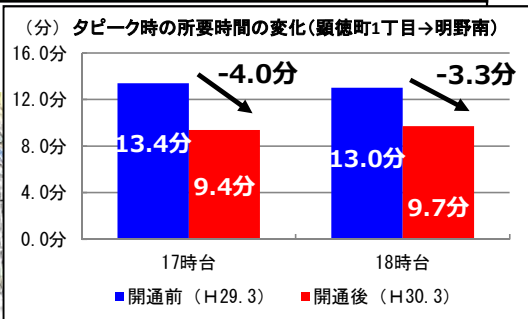
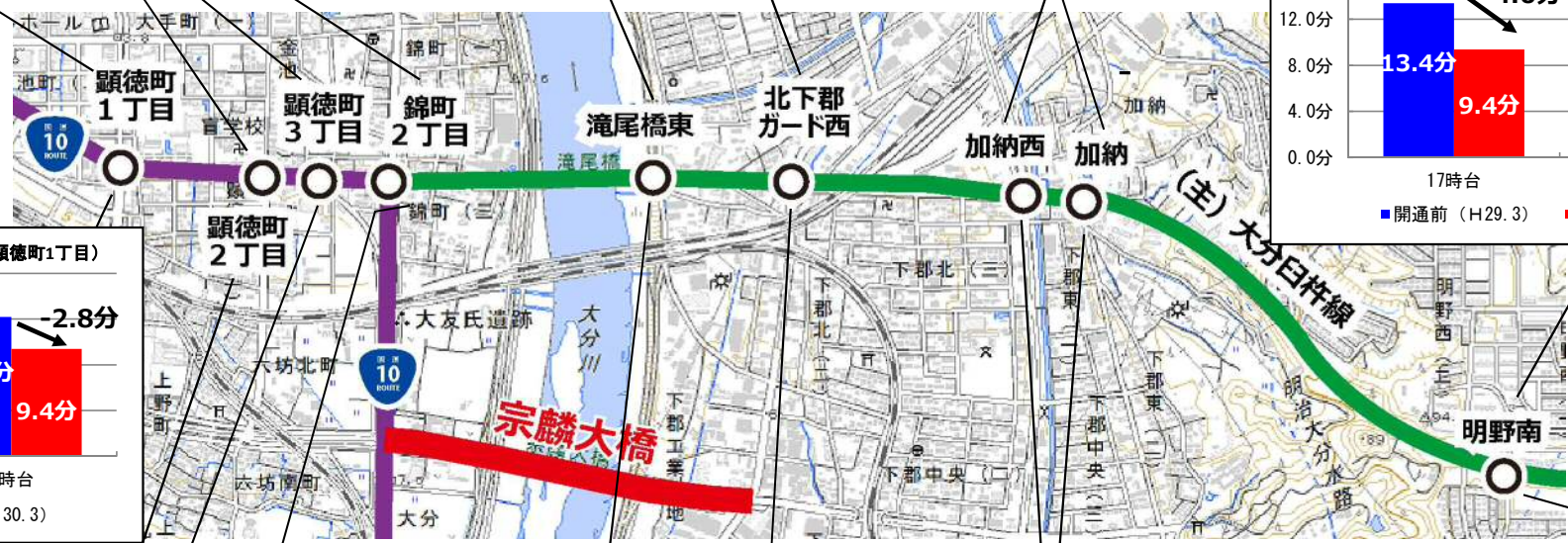
・宗麟大橋の開通により、国道10号及び大分臼杵線における「顕徳町1丁目交差点～北下郡ガード西交差点」の渋滞が緩和され、顕徳町1丁目と明野南間の通勤・帰宅時の所要時間は片道3～5分の短縮となった。

顕徳町1丁目→明野南 平日の夕ピーク



凡例 (単位: km/h)

50 ~	40 ~ 50	30 ~ 40	20 ~ 30	0 ~ 20
Blue	Green	Yellow	Orange	Red



明野南→顕徳町1丁目 平日の朝ピーク



▲宗麟大橋開通による走行速度の変化

※ETC2.0プローブ情報 開通前(H29.3) 開通後(H30.3)

3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針

(1) 渋滞対策の基本方針(大分県全体)

出典：平成27年度第1回大分県交通渋滞対策協議会資料より抜粋

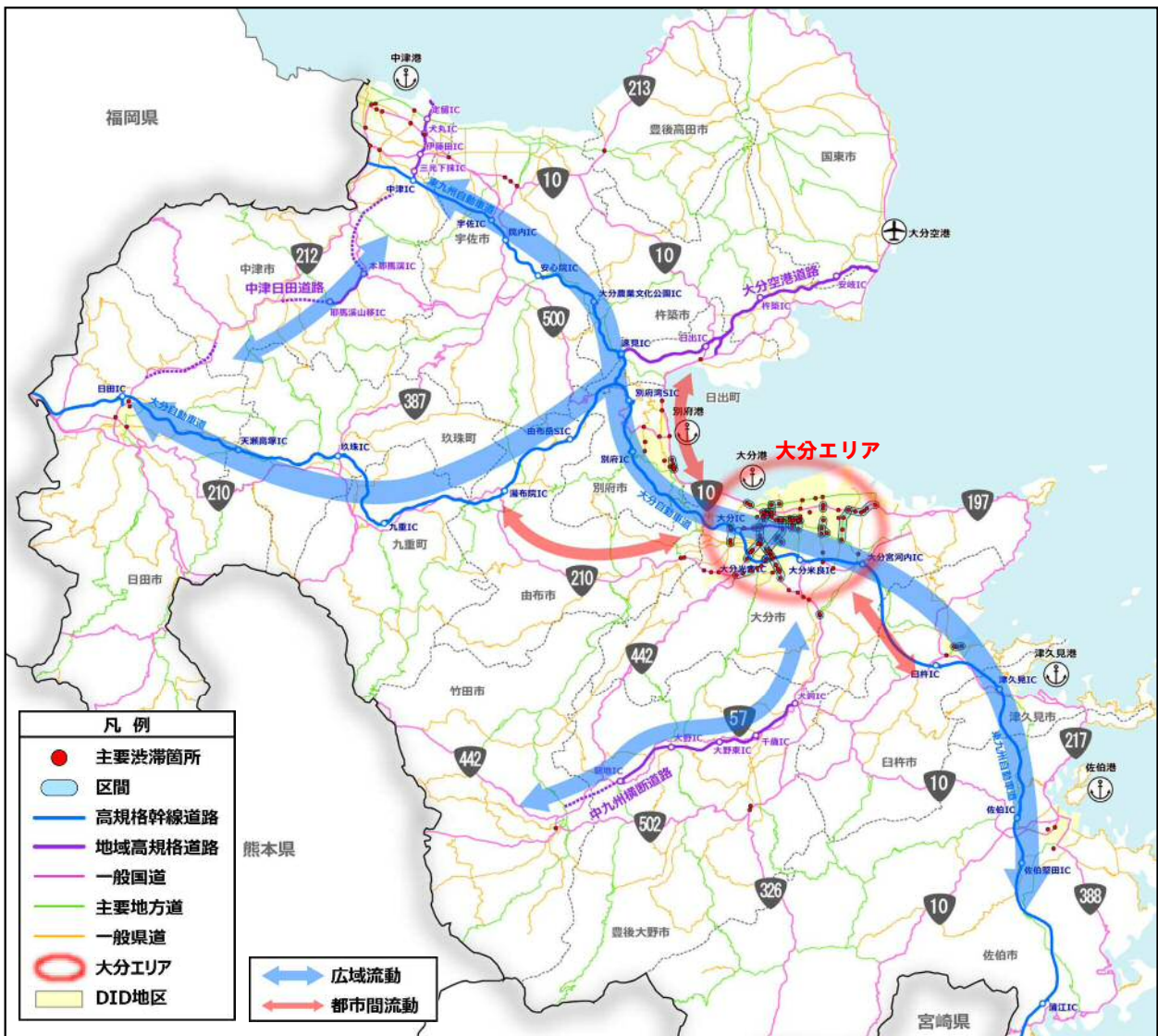
1. 大分県の概況

	概要
大分県市街地の状況	<ul style="list-style-type: none"> 大分県は、山地が多く平地が少ない地形であり、土地利用も県土の約70%を林野が占めており、可住割合は27.9%と九州の中では低い割合となっている。 主要都市人口比率は大分市40%、別府市10%、中津市7%、日田市6%、佐伯市6%となっており、大分市に集中している状況。 流動方向は東九州自動車道や国道10号などの南北方向の他、大分自動車道や国道210号などの東西方向など、県を超える広域の流動がある。また、大分市から熊本方面へ国道57号や、中津市から日田市への国道212号などの流動がある。 県庁所在地である大分市は、周辺市町との結びつきも強く、別府市・由布市・臼杵市などから多くの交通が流入している。
道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> 県民活動に著しい影響を与えている道路交通渋滞は、朝夕のピーク時や休日など交通集中により、県内各地で発生。 特に大分エリアで集中しており、全体の約7割(100箇所/147箇所)が集中。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 地域間の連携・交流・連結機能を強化する中九州横断道路・中津日田道路などの整備を進める。 マイカーによる通勤、通学の公共交通へのシフト促進策や自転車通行空間の整備による自転車利用促進などを進め、ソフト対策としての交通渋滞軽減を進める。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通円滑化を図るため、広域ネットワークの充実や現道拡幅、交差点改良などのボトルネック(円滑な流動を妨げる隘路となる部分)対策を計画的に進める。

3. 大分県全体の交通流動



基本方針

■ 県内の主要渋滞箇所が集中する大分エリアにおいては、関係者で構成する検討部会において、更なる対策検討及び対策効果を検証してまいります。その他の「地域の主要渋滞箇所」については、各道路管理者等により渋滞分析を進め対策検討及び対策効果を検証してまいります。

3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針

(2) 渋滞対策の基本方針(大分エリア)

出典：平成27年度第1回大分県交通渋滞対策協議会資料より抜粋

1. 大分エリアの概況

	概要
大分エリアの概況	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市は県人口の約4割が集中する県都であり、製造品出荷額が全国の市区で第4位(2.5兆円)を誇るなど、全国でも有数の商工業都市である。 ・市街地は、大分駅周辺を拠点に臨海部や内陸部に広がっているが、大分川や大野川によって東西に分断されている。 ・JR日豊本線の高架化(H24.3開業)、大分駅ビルなど、新たな都市開発が進んでいる。
道路交通課題	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の骨格をなす道路は、国道10号が南北に、国道197号、210号、442号などが東西に走り、放射網構造を形成している。 ・周辺市町や郊外住宅地から都心への交通集中により、朝夕ピーク時には国道10号、197号、210号などで交通混雑が発生し、特に道路の少ない渡河部での渋滞は顕著。 ・主要渋滞箇所において交通運用や交差点形状等による局所的な交通混雑が発生している。

3. 大分エリアの主要渋滞箇所と現在の対策等



2. 現在の対策等

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市では、将来都市像や都市づくりの基本理念を定めた『都市計画マスタープラン』によりまちづくりを進めており、『交通施設の整備方針』については、都市間の連携強化や交通需要マネジメント(TDM)の推進など、4つの基本理念を掲げ、円滑な交通体系の実現に向け取り組んでいる。 ・現在概ね20年後の大分都市圏のビジョンを示す、大分都市圏総合都市交通計画の策定を大分県・大分市で行っている。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・庄の原佐野線(橋梁部)、国道10号高江拡幅、国道197号鶴崎拡幅、国道442号宗方拡幅の整備など

基本方針

関係者で構成される検討部会において、『大分都市圏総合都市交通計画』等を踏まえ、さらなる対策検討及び対策効果を検証してまいります。

道路管理者

国、大分県、大分市
西日本高速道路株

警察

大分県警

運輸局

大分運輸支局

エリア自治体

大分市

交通事業者

鉄道、バス等

3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針

(3)大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の進め方

・大分県および大分エリアにおいては、各道路管理者等及び交通事業者との連携を図りながら、ハード・ソフトの両面から渋滞対策を推進していく。

○短期・中期対策の道路整備推進

○ピンポイント対策の検討実施

○官民連携による渋滞対策の実施

○ソフト対策等の検討実施

・「今後対策を検討」する必要がある主要渋滞箇所について、国・県・関係市町と協議を行う。

・各道路管理者等により渋滞分析を進め、対策検討及び対策効果を検証する。(大分県内)

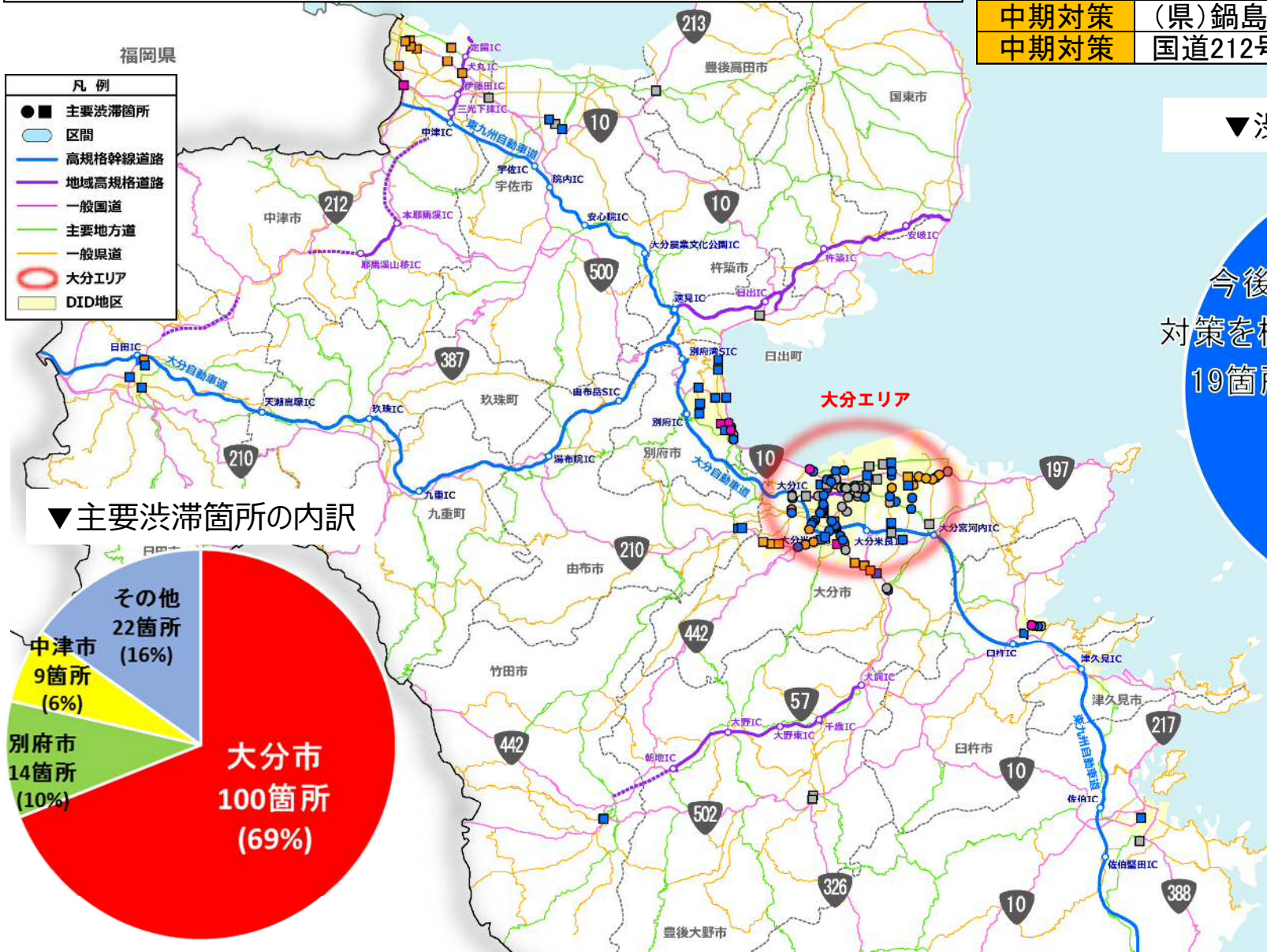
・大分都市圏総合都市交通計画等を踏まえ、さらなる対策検討及び対策効果を検証する。(大分エリア)

3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針

(4)大分県の主要渋滞箇所の現状と渋滞対策の方針

- ・県内の主要渋滞箇所の約3割(45/145)が大分市外に点在している。
- ・これらの箇所に対しては、国・大分県・関係市町において、渋滞要因を分析し、その結果を踏まえて対策を検討する。

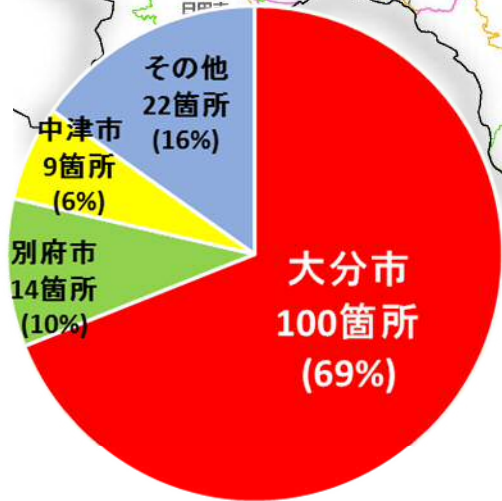
短期および中期対策事業(大分市外)	
短期対策	(都)山田関の江線西野口町
短期対策	国道10号豊前拡幅
短期対策	(都)祇園洲柳原線
中期対策	(県)中津高田線角木工区
中期対策	(県)鍋島植野線 植野2工区
中期対策	国道212号日田拡幅



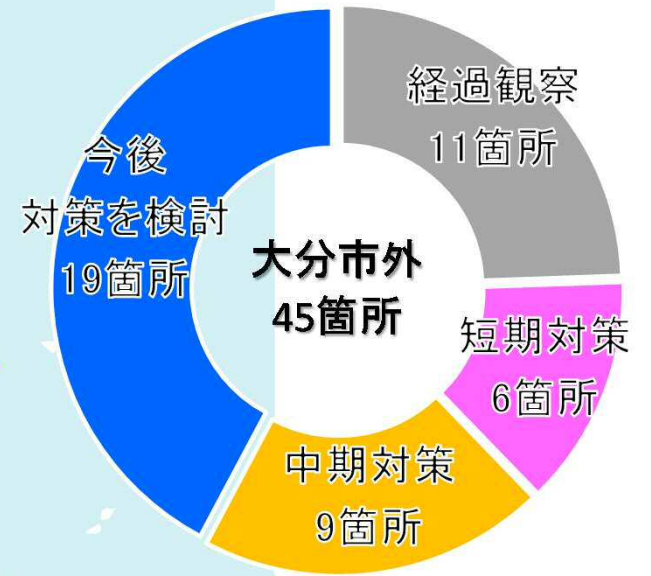
凡例

- 主要渋滞箇所
- 区間
- 高規格幹線道路
- 地域高規格道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 大分エリア
- DID地区

▼主要渋滞箇所の内訳



▼渋滞対策メニュー (大分市外)



主要渋滞箇所

- 経過観察
- 短期
- 中期
- 今後対策を検討

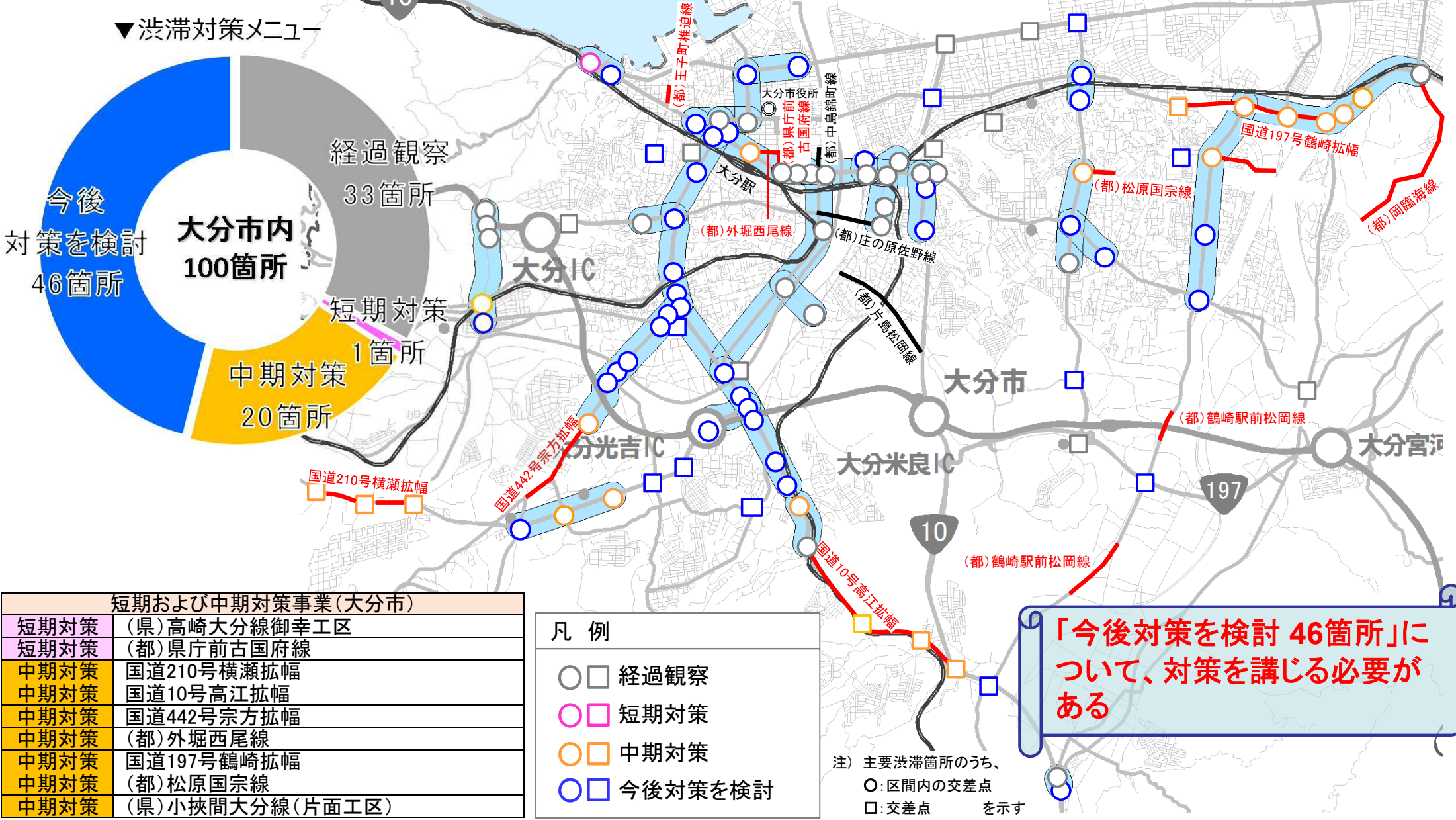
○: 区間内の交差点
□: 交差点を示す

注) 主要渋滞箇所のうち、○: 区間内の交差点 □: 交差点を示す

3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針

(5)大分エリアの主要渋滞箇所現状

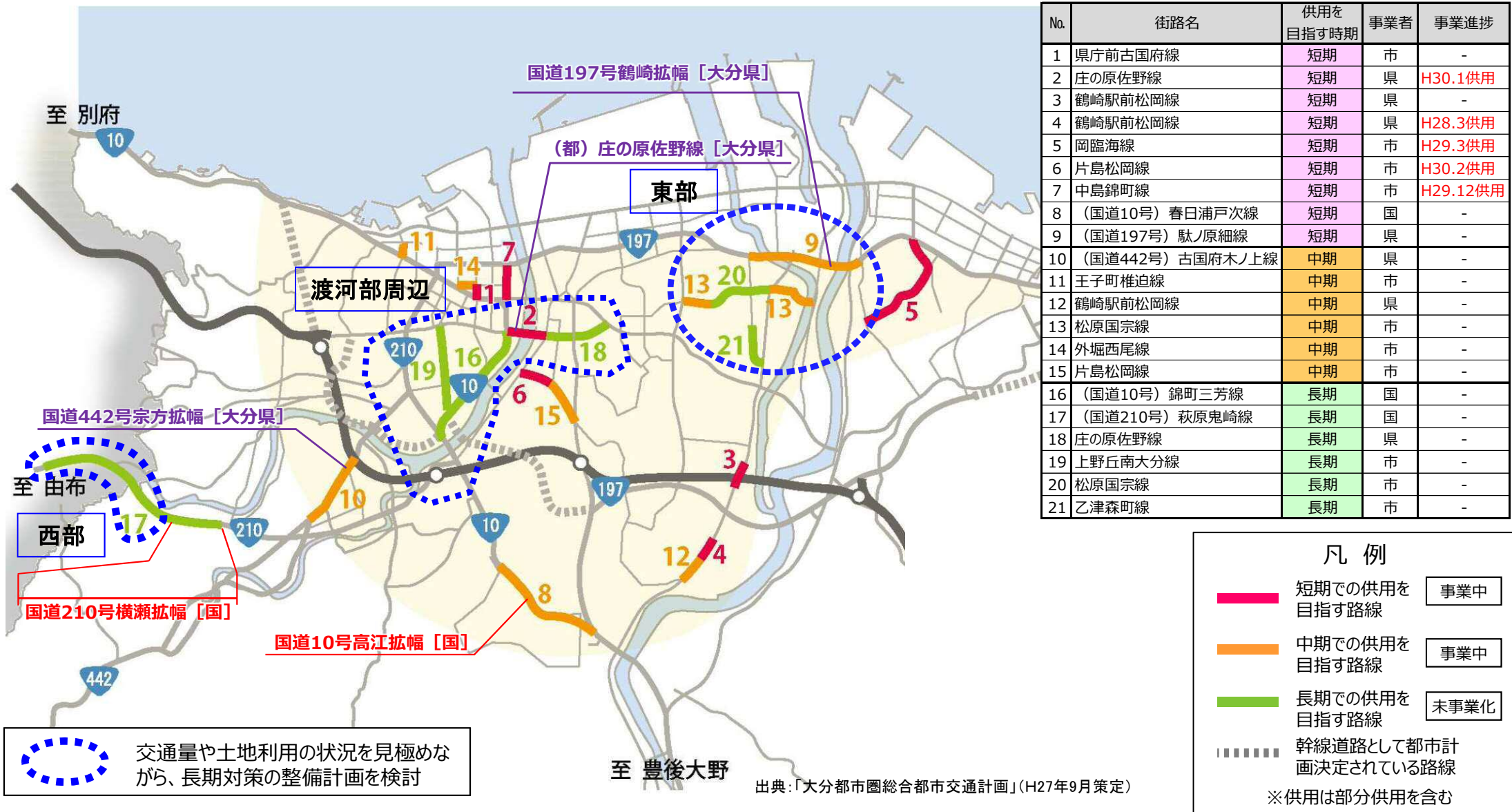
・現在、国道10号高江拡幅、庄の原佐野線などの対策事業を進めているが、**今後対策を検討する必要がある箇所は約5割(46箇所)**となっている。



3. 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針

(7)大分都市圏総合都市交通計画の事業進捗

- ・大分都市圏では、H27.9に「大分都市圏総合都市交通計画」が策定されており、その中で設定された道路混雑緩和に向けた短期・中期対策の道路整備に取り組んでいる。
- ・未事業化路線についても交通量や土地利用の状況を見極めながら、必要性の検討を進める。



4. ピンポイント渋滞対策の取り組み

(1) ピンポイント渋滞対策(簡易対策)

- ・大分県の主要渋滞箇所の内、約4割が対策検討中であるため、今後は可能な範囲で、ピンポイント渋滞対策(簡易対策)を行い、交通渋滞の緩和を図っていく。
- ・主要渋滞箇所の渋滞状況、渋滞要因を整理し、現況の用地内を基本とした検討を行う。
- ・区画線の引き直し等により、滞留空間を確保するなど 既存ストックを有効に活用して、短時間・低コストで実施可能な簡易対策を検討・実施する。
- ・簡易対策が実施可能な主要渋滞箇所については、道路管理者及び交通管理者との協議を進めていく。



※右折車線相当の幅員として、1.5m以上のふくらみをもたせる
「道路構造令の解説と運用」より

4. ピンポイント渋滞対策の取り組み

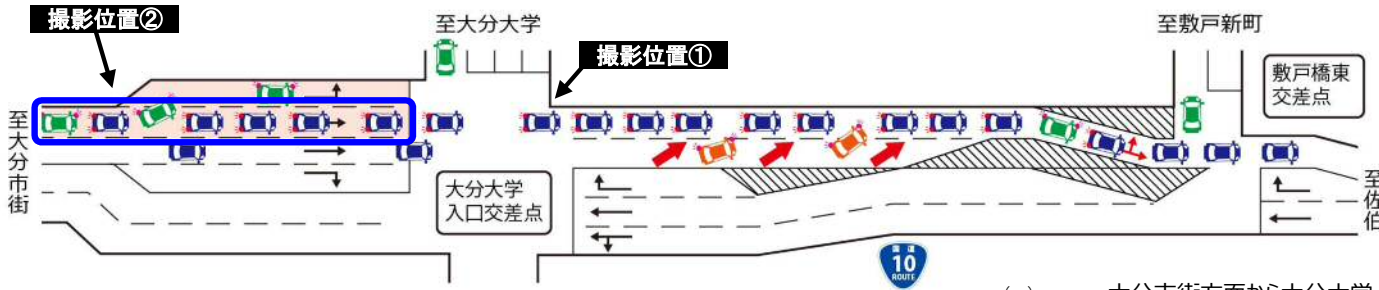
(2)ピンポイント渋滞対策(簡易対策)<国道10号大分大学入口交差点>

【道路事業】大分大学入口交差点部の区画線の引き直し(ピンポイント渋滞対策)

- ・国道10号下り車線では、大分大学入口交差点の手前から走行車両が第1車線に集中し、朝夕を中心として渋滞が発生していた。
- ・H29.2に行った**交差点改良(区画線の引き直し)**により、交通の分散が図られ、渋滞が緩和した。

対策前

第一車線に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生



対策前

第一車線に交通が集中

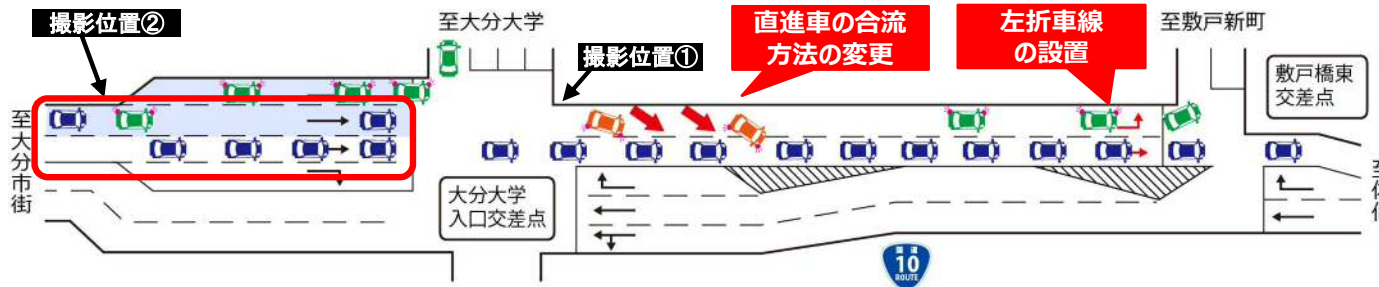
渋滞のため左折レーンに入れない



対策後

第2車線へ交通が分散し、渋滞が緩和

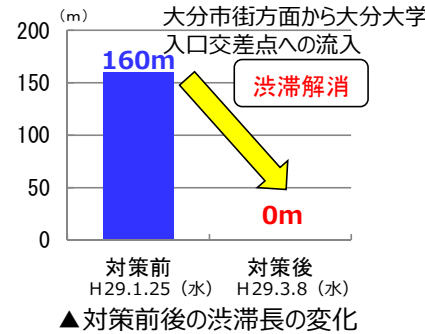
H29.2対策実施



対策後

第2車線へ交通が分散

左折がスムーズになった



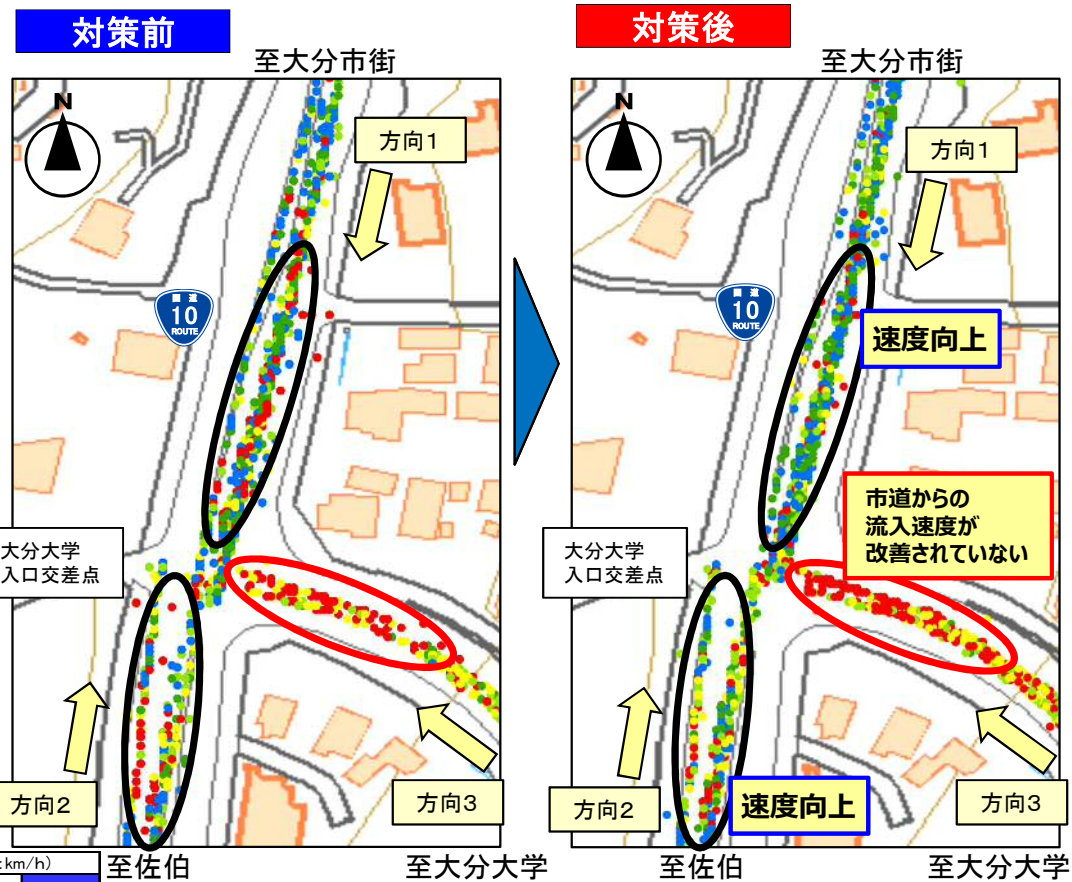
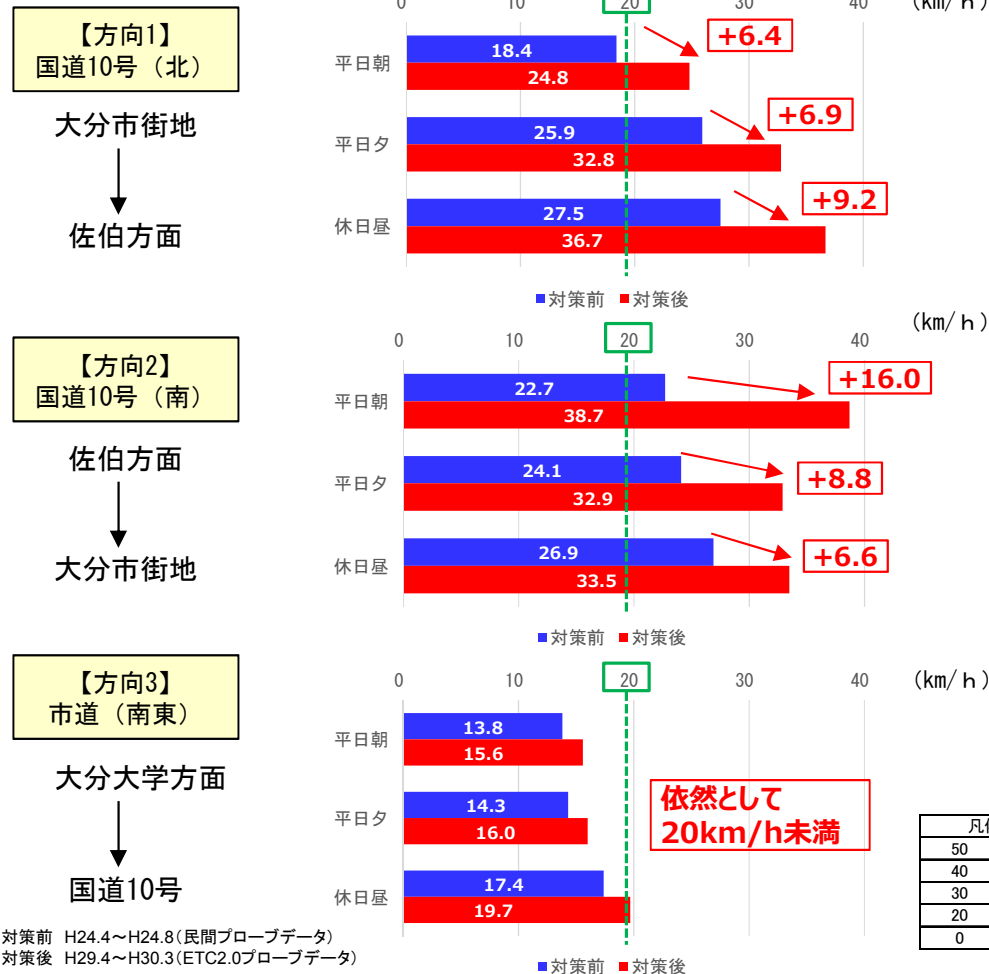
4. ピンポイント渋滞対策の取り組み

(2)ピンポイント渋滞対策(簡易対策)<国道10号大分大学入口交差点>

【道路事業】大分大学入口交差点部の区画線の引き直し(ピンポイント渋滞対策)

・最新の速度データでは、国道10号の流入部において速度が向上し、上り車線・下り車線ともに20km/h以上となったが、市道からの流入の渋滞は解消されていない。
 ⇒依然として**主要渋滞箇所の選定基準(旅行速度20km/h未満)**に該当しているため、「経過観察」とし、引き続きモニタリングするとともに、信号現示変更等による渋滞対策について検討を行う。

【対策前後の速度比較】



対策前 H28.10~H28.12 平日7~19時(ETC2.0プローブデータ)
 対策後 H29.10~H29.12 平日7~19時(ETC2.0プローブデータ)

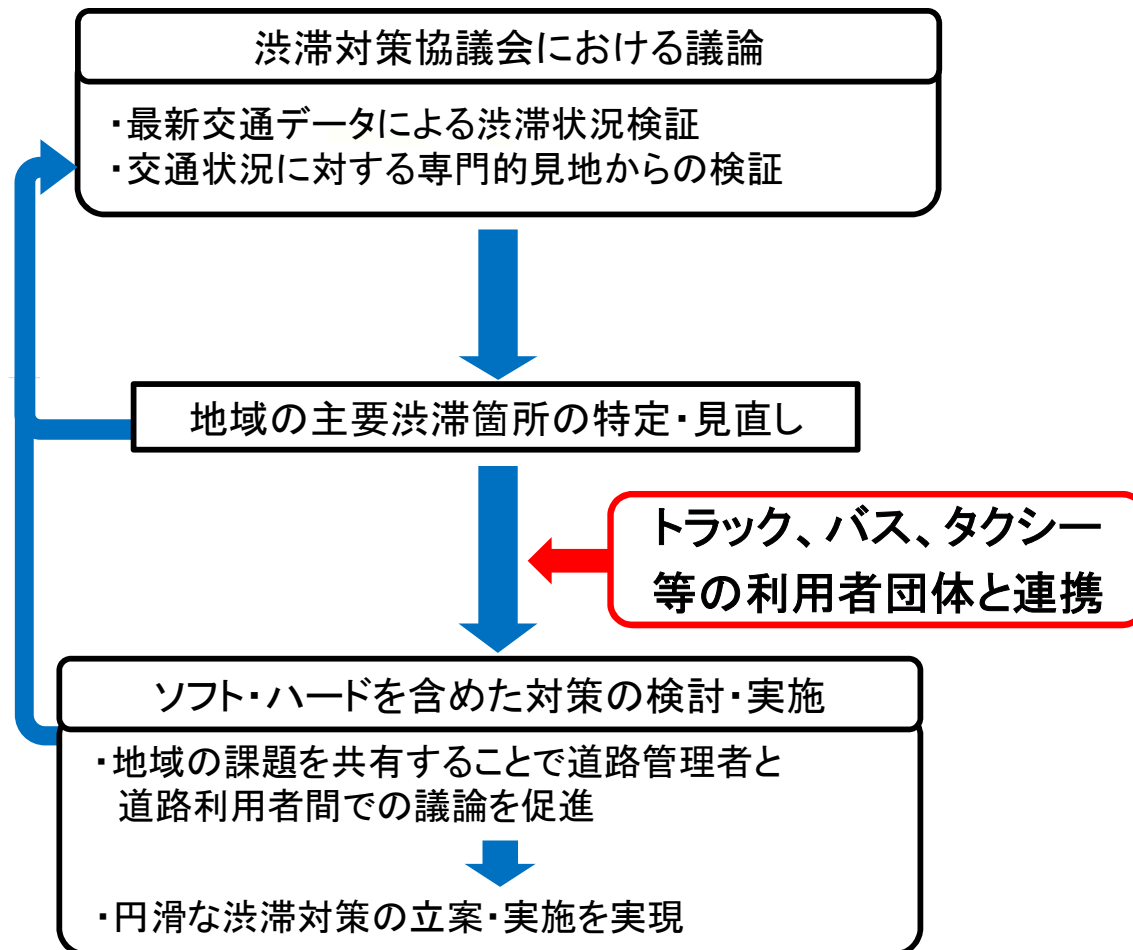
※国土地理院地図を使用

▲大分大学入口交差点に流入する交通の速度

5. 官民連携による渋滞対策の取り組み

(1) 官民連携による渋滞対策

- ・人・物の輸送の効率化を図るため、渋滞対策協議会とトラック、バス、タクシー等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、即効性のある渋滞対策を実施。



<トラックが渋滞に巻き込まれている状況>



<バスが渋滞に巻き込まれている状況>

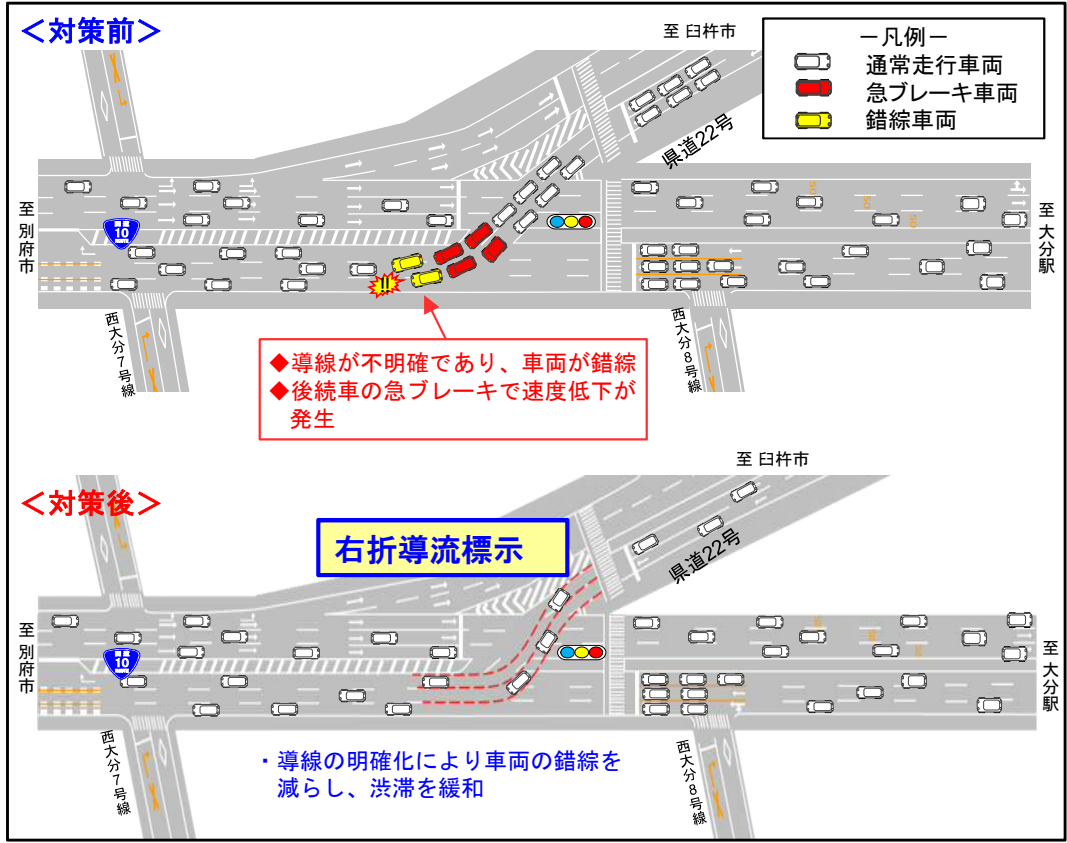
今年度、トラック・バス・タクシー事業者から見た渋滞箇所の対策を実施

5. 官民連携による渋滞対策の取り組み

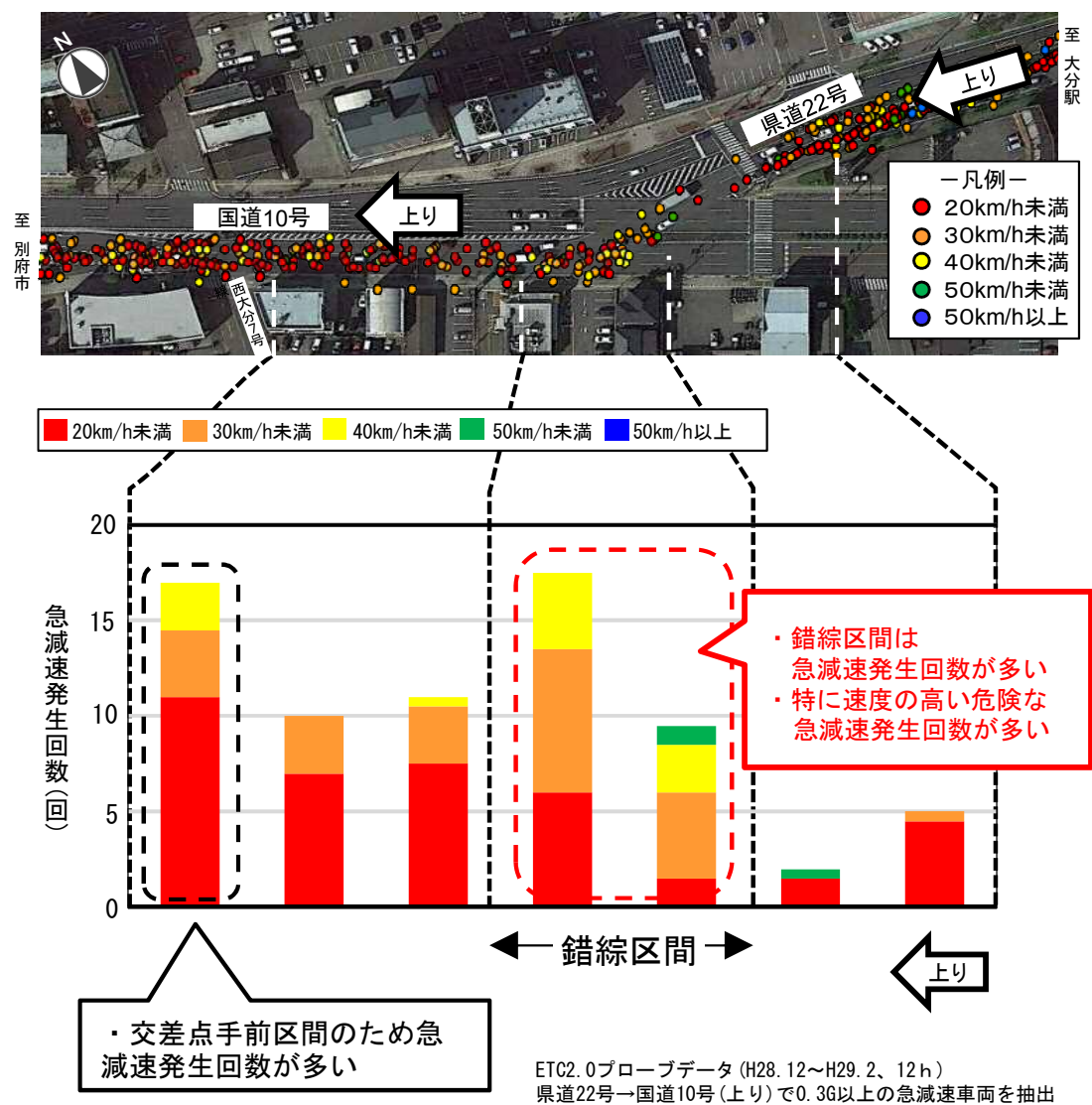
(2) 官民連携による渋滞対策例<国道10号西生石交差点>

- ・西生石交差点では従道路側から右折車の導線が不明確であり、交差点内での車両交錯が発生し、速度低下を招いている。
- ・**導線の明確化(右折導流標示の設置)**により車両交錯を減らし、渋滞緩和を行う。

<<位置図>>



■ 急ブレーキの発生状況



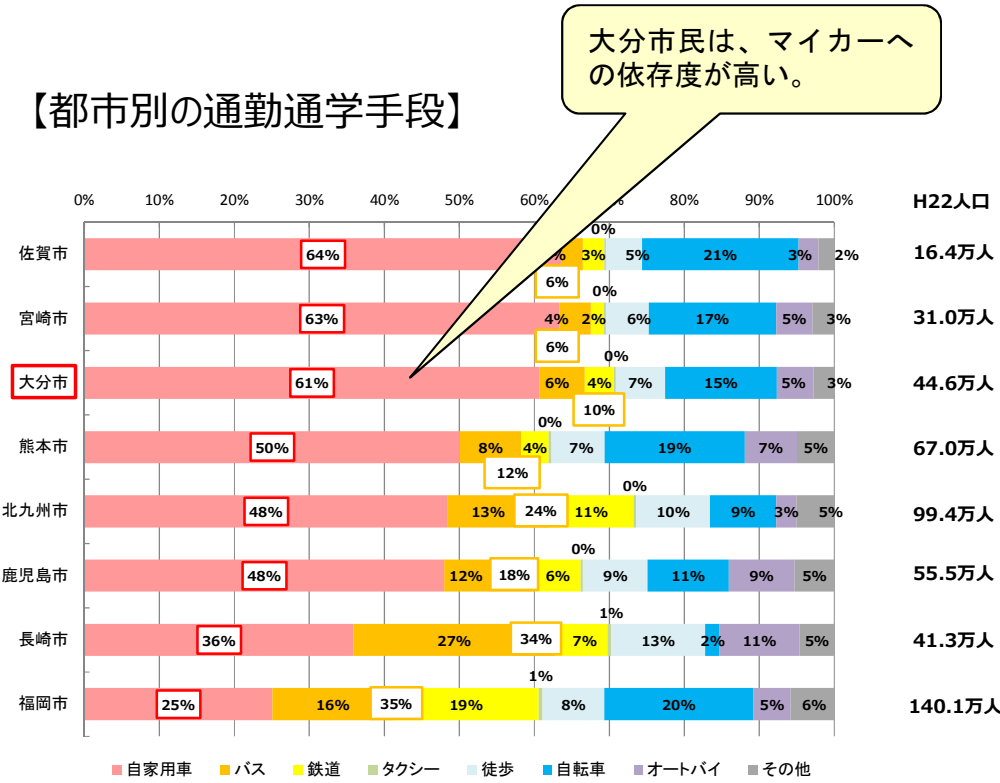
ETC2.0プローブデータ (H28.12~H29.2、12h)
 県道22号→国道10号(上り)で0.3G以上の急減速車両を抽出

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(1) 大分都市圏における問題点

- ・大分市は、他都市に比べ **マイカーへの依存度が高く、公共交通の利用率が低い** ことが渋滞の一因となっている。
- ・近年、鉄道利用者は増加傾向にあるものの、バス利用者は減少している。

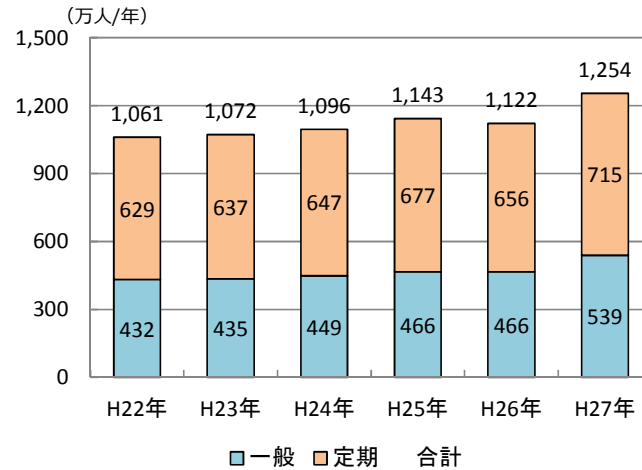
【都市別の通勤通学手段】



▲通勤通学時の交通手段構成(15歳以上)

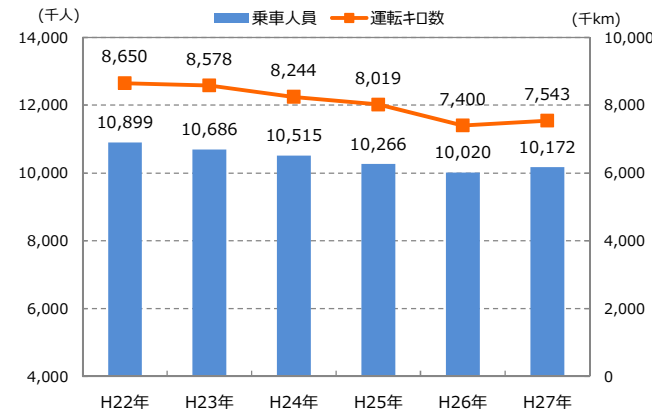
出典:H22国勢調査

【公共交通利用者数の推移】



▲鉄道利用者の推移

出典:大分市統計年鑑



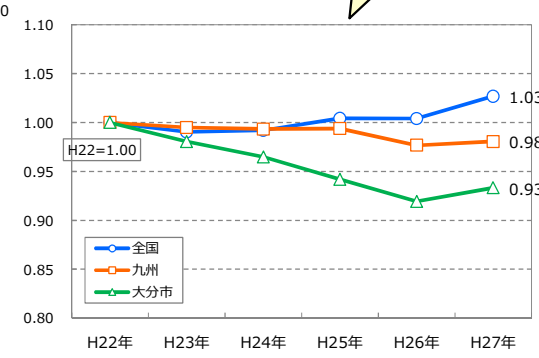
▲バス利用者の推移

出典:大分市統計年鑑

バス利用者は減少傾向。

鉄道利用者は増加傾向にあるが、バス利用者は減少傾向。

バス利用者は、全国や九州に比べ、より大きな落ち込み。



▲バス利用者の変化

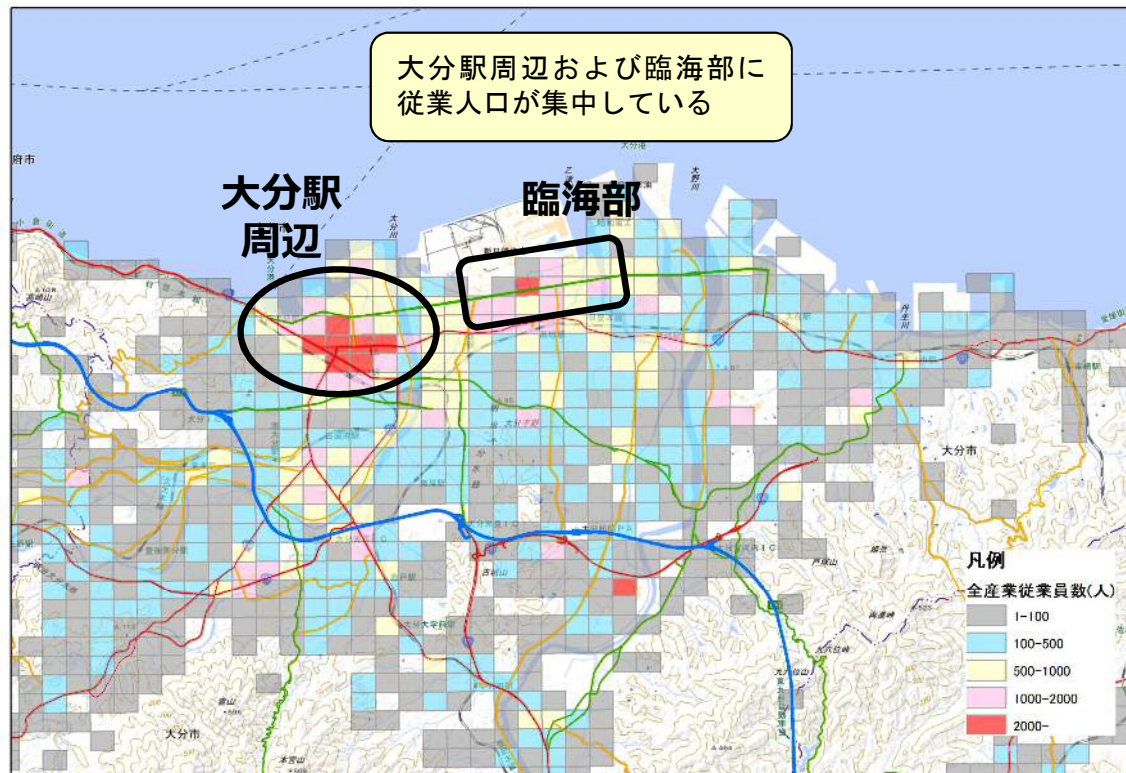
出典:大分市統計年鑑、自動車輸送統計、九州運輸要覧

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(1) 大分都市圏における問題点

- ・大分市では、大分駅周辺および臨海部に従業員人口が集中しており、マイカー通勤による渋滞が発生している。
- ・一方、マイカー利用者の約3割は、公共交通の利便性が良くなれば、交通手段を転換する意向を持っている。
- ・マイカー以外の交通手段の利用を促進し、過度なマイカー依存からの脱却を図ることが必要。

【従業員人口分布】

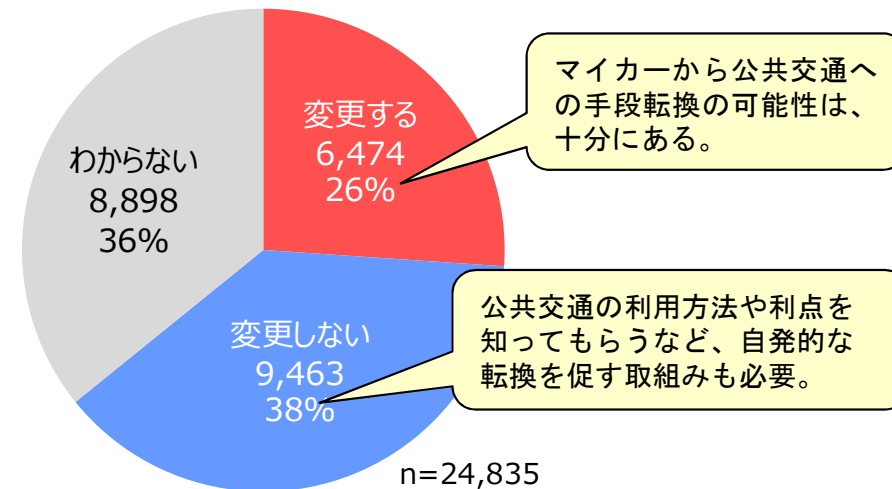


▲従業員人口分布(500mメッシュ)

出典: H26経済センサス

【公共交通利用への転換意向】

(問) 公共交通の利便性が良くなれば、自動車等から公共交通へ交通手段を変更するか？



▲公共交通への交通手段変更の可能性

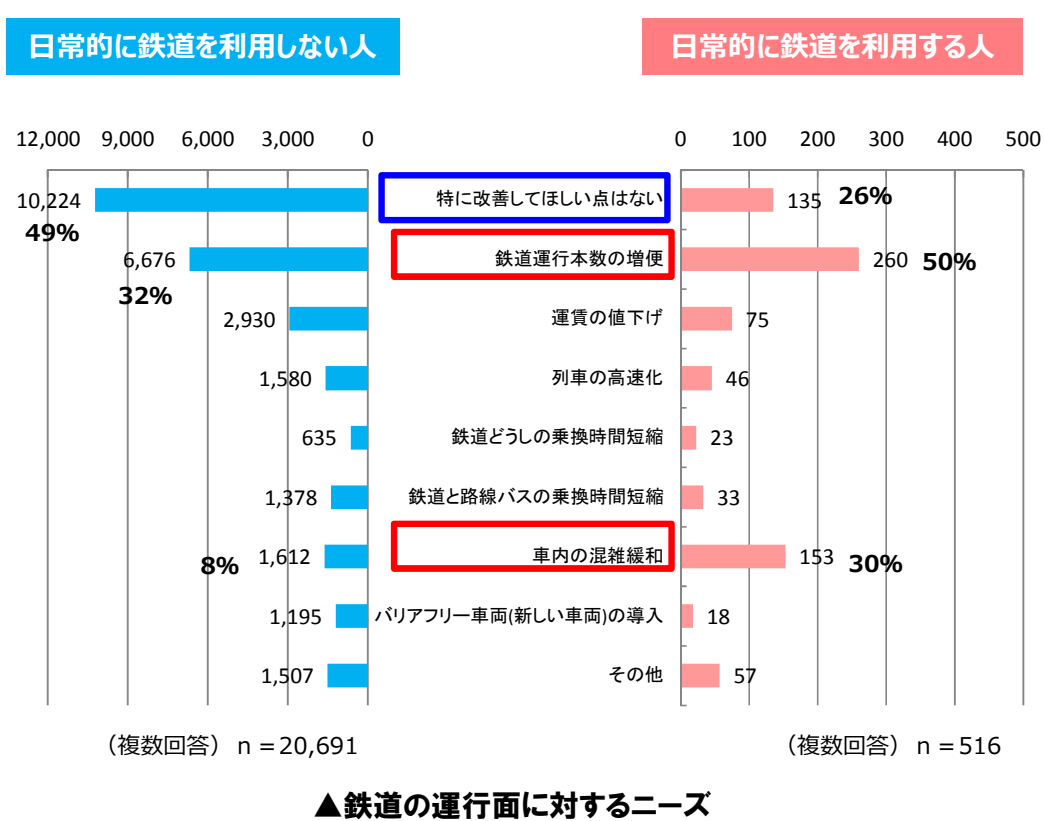
出典: H25大分都市圏PT調査【付帯調査】

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

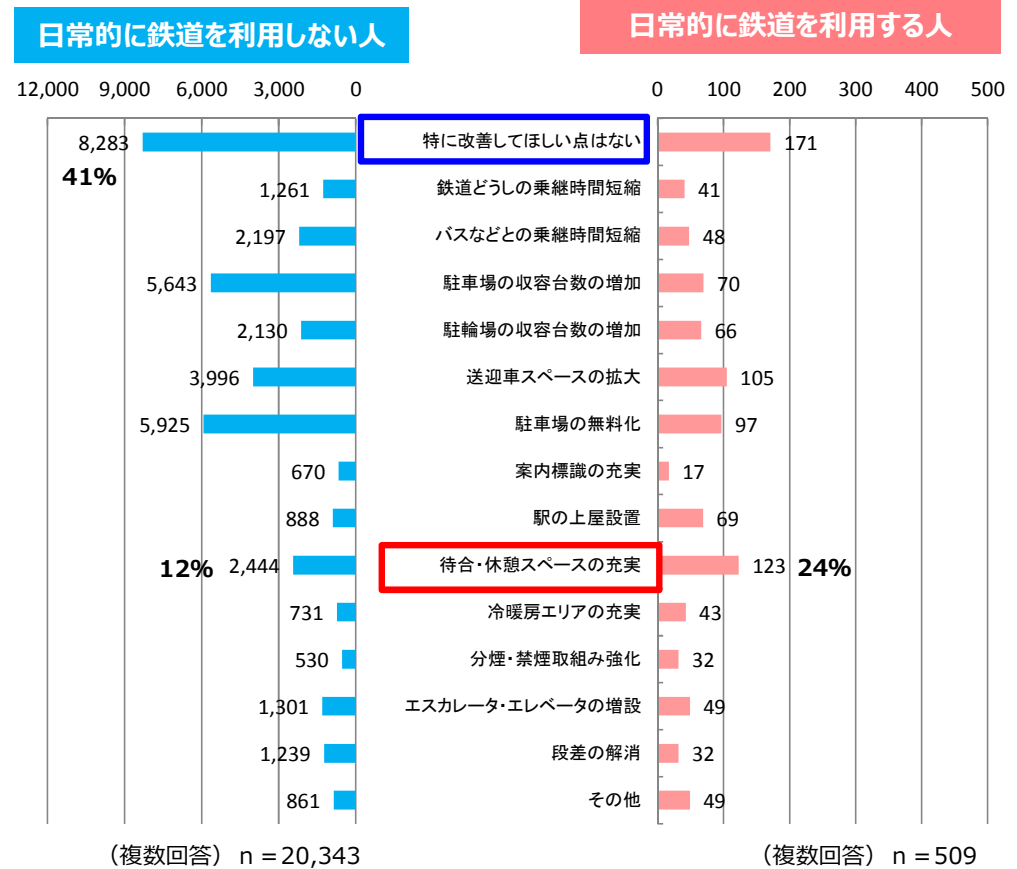
(2) 公共交通に対する市民のニーズ

・鉄道に対する利用者のニーズは、「運行本数増便」、「車内混雑緩和」、「**待合・休憩スペースの充実**」などが求められている。
 ・一方で、日常的に利用しない人は、「特に改善してほしい点はない」という関心の薄い回答が多く見受けられ、市民の**公共交通に対する意識の啓発**が必要。

【鉄道に対するニーズ】



出典: H25大分都市圏PT調査【付帯調査】



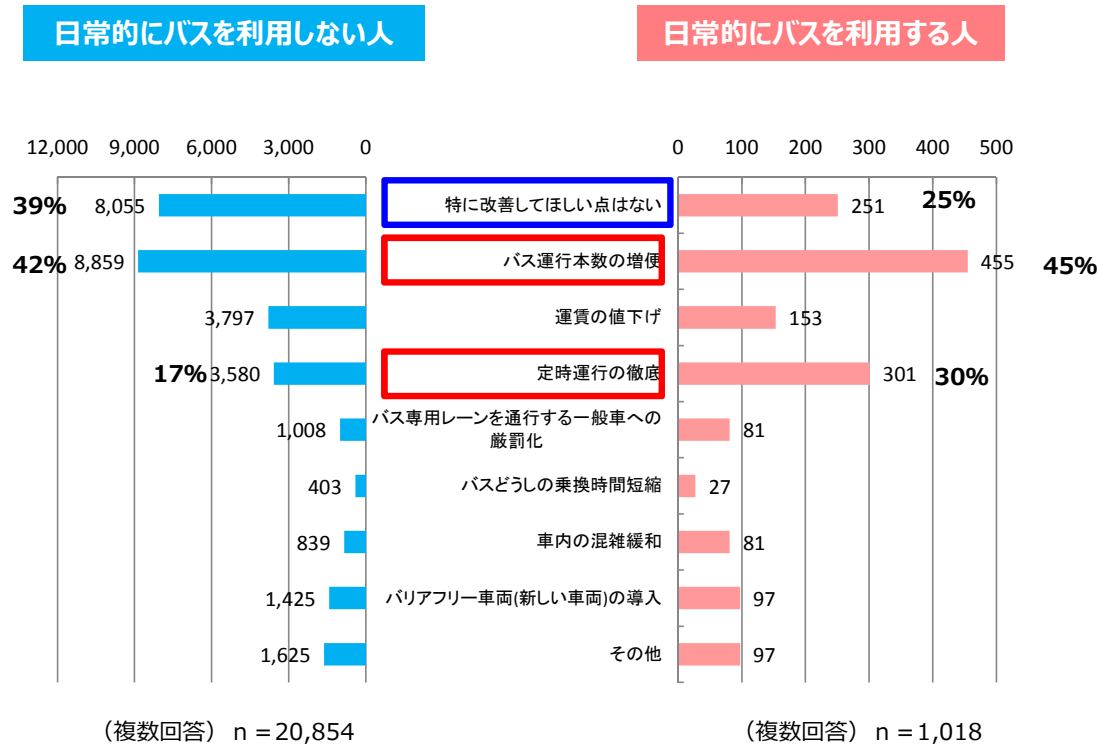
出典: H25大分都市圏PT調査【付帯調査】

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(2) 公共交通に対する市民のニーズ

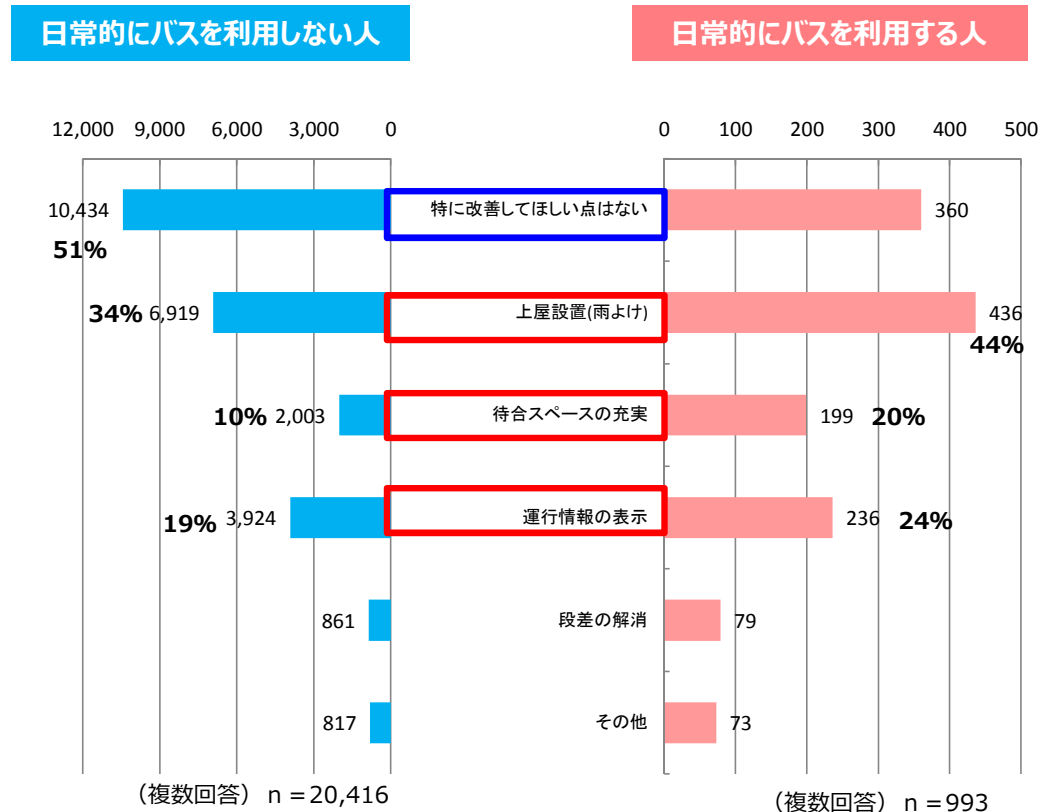
- ・バスに対する利用者のニーズは、「運行本数の増便」、「定時運行の徹底」、「**上屋設置(雨よけ)**」、「**運行情報の表示**」、「**待合スペースの充実**」などが求められている。
- ・一方で、日常的に利用しない人は、「特に改善してほしい点はない」という関心の薄い回答が多く見受けられ、市民の**公共交通に対する意識の啓発**が必要。

【バスに対するニーズ】



▲路線バスの運行面に対するニーズ

出典: H25大分都市圏PT調査【付帯調査】



▲バス停に対するニーズ

出典: H25大分都市圏PT調査【付帯調査】

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(3) 公共交通の利用促進施策の推進

・大分都市圏ではH27.9に「大分都市圏総合都市交通計画」を策定し、目指す交通体系の実現に向けて、公共交通利用促進施策を推進している。



6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(4) 公共交通の利便性向上(待合・休憩スペースの充実)

- ・鉄道やバスを利用する際の市民のニーズとして、**待合・休憩施設スペースの充実**が求められている。
- ・現在、JR大分駅周辺においては高速バス乗り場が分散されており、鉄道や市内交通機関等との乗継ぎが不便。
- ・JRおおいたシティに隣接した大分市要町貸切バス駐車場の交通結節機能を強化し、**公共交通等の利便性の向上**を図る取り組みが大分市において検討中。



大分市要町貸切バス駐車場



府内中央口

【現在の機能】

路線バス(乗降)
 空港バス(乗降)
 タクシー(乗降)
 一般自動車(乗降)
 交流拠点(広場)

【追加機能】(H30年度実施)

・バスロケーションシステム
 (多言語化等の機能強化)
 ・デジタルサイネージ
 (バス発着情報)

大分市要町貸切バス駐車場

【現在の機能】

路線バス(待機・一部乗降)
 高速バス(乗降・待機)
 貸切バス(乗降・待機)
 タクシー(待機)
 一般自動車(整理場)
 (時間貸し)

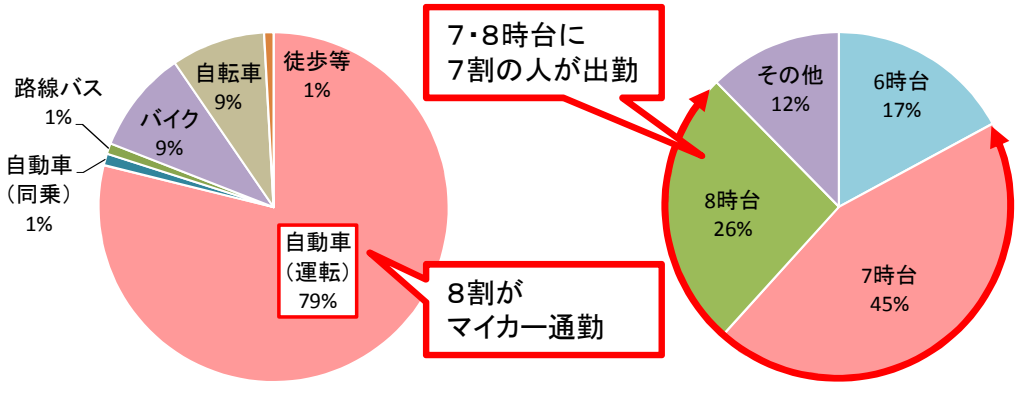
【追加機能】(検討中)

・案内・チケット販売
 ・乗降場・バスの発着情報
 ・待合所・トイレ・売店
 ・乗務員休憩所 など

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(5) 公共交通の利便性向上の検討(大分市臨海部)

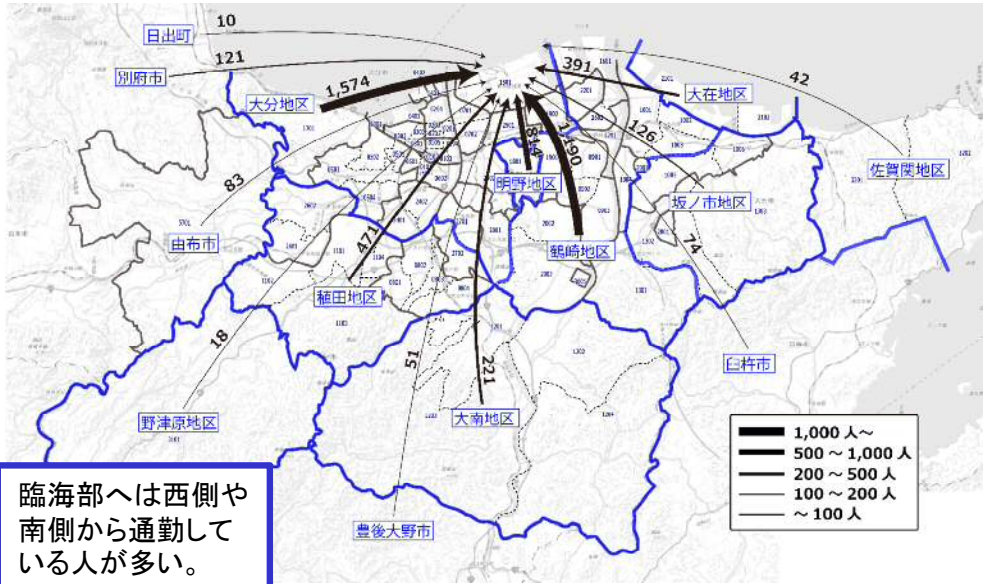
- ・大分市の臨海部には従業員規模の大きな企業が立地しているが、公共交通の利便性が低いこともあり、マイカー通勤による渋滞が発生している。
- ・今後は、臨海部における交通特性等を詳細に把握した上で、公共交通利用促進施策の検討が必要。



▲臨海部への通勤手段

▲臨海部への通勤時刻

出典: H25大分都市圏パーソントリップ調査



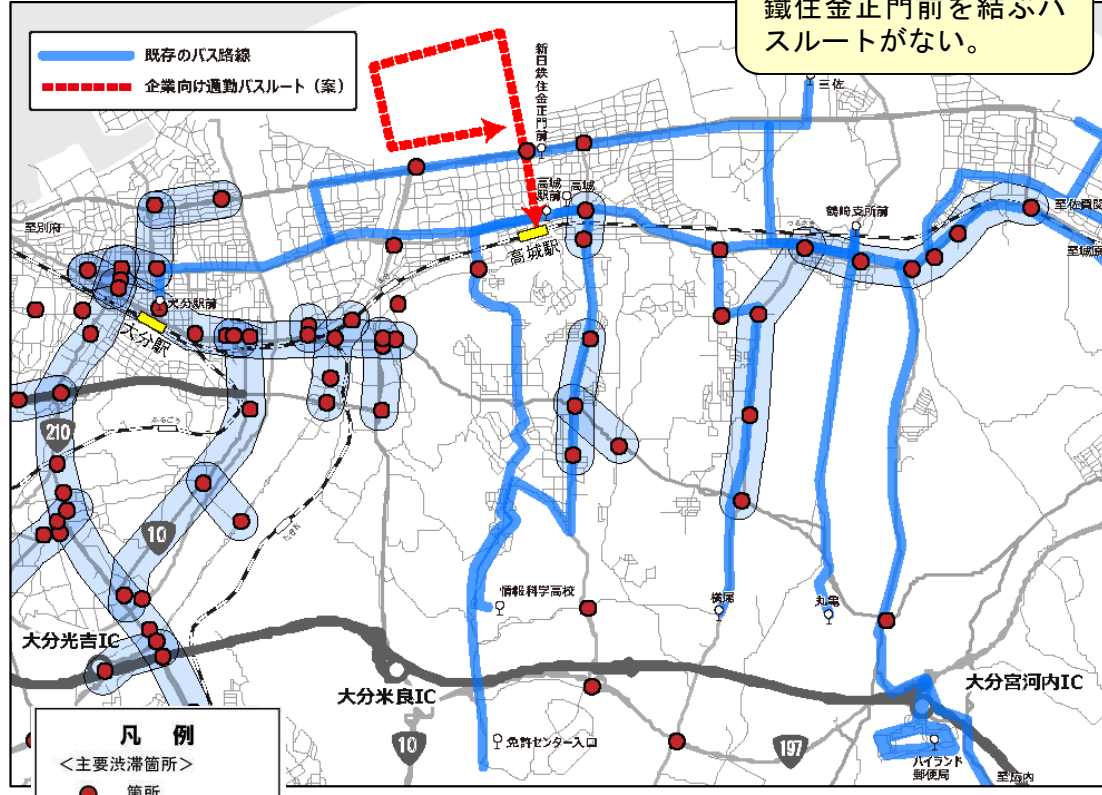
▲臨海部へ通勤する人の居住地

出典: H25大分都市圏パーソントリップ調査

■考えられる対策案の一例

- ・「企業向け通勤バス」の導入検討
- 「JR高城駅～新日鉄住金正門前～構内巡廻」ルートでの通勤バスの導入を検討し、公共交通の利便性の向上を図る。

現在、高城駅前と新日鉄住金正門前を結ぶバスルートがない。



▲考えられる対策案の一例(企業向け通勤バスルート)

6. ソフト対策等による渋滞対策の取り組み

(6) 公共交通に対する意識の啓発(公共交通マップの作成)

- ・大分市民は、マイカーへの依存度が高く、移動の際の手段選択肢に公共交通を想定していない人も見受けられる。
- ・大分市では、公共交通の利用促進の取り組みとして、市域を超えて利用することが多い施設(学校、病院、大型商業施設等)への公共交通によるアクセス方法を詳細に記載した「大分都市広域圏公共交通マップ みんなののりもの便利帳」を作成。
- ・公共交通マップを広く頒布することで、市民の公共交通に対する意識の啓発が図られる。

【みんなののりもの便利帳の配布状況】
 配布先:大分市周辺の7市1町
 大分市内では、これまでに約3万部を配布
 (中学校、大分バス、大分交通、JR九州など)

【配布先施設からの意見】
 (中学校から) 高校までの交通手段が掲載されており、進路選択の参考となった。
 (掲載している学校から) 新入生に配布したいので、人数分のマップが欲しい。
 (病院から) マップを追加で送ってほしい。



大分都市広域圏公共交通マップ みんなののりもの便利帳
 この冊子は、大分都市広域圏(大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町)の公共交通マップです。学校、病院、大型商業施設、文化・スポーツ施設、行政施設、港への交通アクセスを掲載しています。環境にやさしく健康にもよい公共交通を積極的に利用しましょう。

目次

- 大分都市広域圏マップ 1
- 大分市 3
- 別府市 臼杵市 日出町 23
- 臼杵市 津久見市 竹田市 23
- 豊後大野市 35
- 公共交通機関一覧 43
- 施設索引 45
- バスのりば案内 46



みんなののりもの便利帳の使い方
 2017年11月1日現在の情報を掲載しています。最新の情報、その他路線情報は、P43~44の各公共交通機関へお問い合わせください。

大分県運転免許センター
 ☎097-528-3000

高松駅前 大分駅前3-6
 大分駅前3-6 大分駅前3-6
 大分駅前3-6 大分駅前3-6

住所 〒870-0401 大分市大分南6687
 電話 ☎030-1600
 営業時間 平日9:00~16:00
 休館日 土曜日・日曜日
 URL http://www.pref.oita.go.jp/kasutai/kenkyo-indoxtc/

各施設までの代表的なアクセス情報を掲載しています。その他路線情報は各施設の地図をご覧ください。
 QRコードを読み取ると、施設周辺の地図をGoogleマップで見ることができます。

7. 今後の進め方

- ・最新の交通データを収集・整理し、主要渋滞箇所の交通状況のモニタリングを継続的に実施していく。
- ・構築した検討体制により、モニタリング結果等を有効に活用し地域毎の渋滞対策の検討を推進する。

“交通渋滞対策協議会”による議論

- 最新の交通データによる渋滞状況の検証
- 地域の交通状況の変化等に対する専門的見地からの検証等
- 主要渋滞箇所の指定及び解除の協議・判断

“検討部会(大分エリア)及び各道路管理者等(その他エリア)”による議論

- 交通状況のモニタリング(主要渋滞箇所のフォローアップ)
- 地域の交通課題の共有
- ソフト・ハードを含めた対策の検討・調整 等

平成30年度 第1回大分県交通渋滞対策協議会

議事概要

1. 日 時 平成30年8月9日（木） 14:00～15:20

2. 場 所 大分河川国道事務所 別館第1・第2会議室

3. 議 事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 最新のデータによる渋滞状況のモニタリング
- (3) 大分県及び大分エリアにおける渋滞対策の方針
- (4) ピンポイント渋滞対策の取り組み
- (5) 官民連携による渋滞対策の取り組み
- (6) ソフト対策等による渋滞対策の取り組み
- (7) 今後の進め方

4. 主要議事要旨

●庄の原佐野線元町下郡工区および中島錦町線の開通に伴い、交通量調査を実施し、一定の効果が見られることを確認したが、開通後間もないため今後も各主要渋滞箇所のモニタリングを継続することとした。

●主要渋滞箇所のフォローアップについては、引き続き交通状況のモニタリングを実施し、国・県・市の道路管理者、警察及び道路利用者と地域の交通課題を共有し、ソフト・ハードを含めた対策の検討・調整を図ることとした。

以上